

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用

東芝ヒートポンプ給湯機

取扱説明書 (家庭用)

システム形名

(ユニット形名との対照表は、46～47ページをご覧ください)
※リモコンは全機種別売です。

フルオートパワフル給湯タイプ

一般地向け (銀イオン発生機能付)

HWH-B374HA
HWH-B464HA
HWH-B374HA-Z
HWH-B464HA-Z

一般地向け

HWH-B374H
HWH-B464H
HWH-B374H-Z
HWH-B464H-Z

寒冷地向け (銀イオン発生機能付)

HWH-B374HAN
HWH-B464HAN
HWH-B374HAN-Z
HWH-B464HAN-Z

※耐重塩害仕様は、形名の末尾に「-GZ」が付きます。

※システム形名でタンクの容量がわかります。

HWH-B□□4***
(37:370L (タイプ)
46:460L (タイプ)
56:560L (タイプ))

フルオートタイプ

一般地向け (銀イオン発生機能付)

HWH-B374A
HWH-B464A
HWH-B374A-Z
HWH-B464A-Z

一般地向け

HWH-B374
HWH-B374M
HWH-B464
HWH-B564
HWH-B374-Z
HWH-B374M-Z
HWH-B464-Z
HWH-B564-Z

寒冷地向け

HWH-B374N
HWH-B464N
HWH-B374N-Z
HWH-B464N-Z



自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機
東芝エコキュート

日本国内専用品
Use only in Japan

- このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書、工事説明書 (据付作業確認書)、使いかたガイドを販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

エコキュートで省エネ&快適生活

安全上のご注意	4
エコキュートの仕組みと特長	6

各部の名前とはたらき

貯湯ユニット/ヒートポンプユニット	8
台所リモコン (HWH-RM94F)	10
浴室リモコン (HWH-RB94F)	12

貯湯ユニットのお湯を沸かす

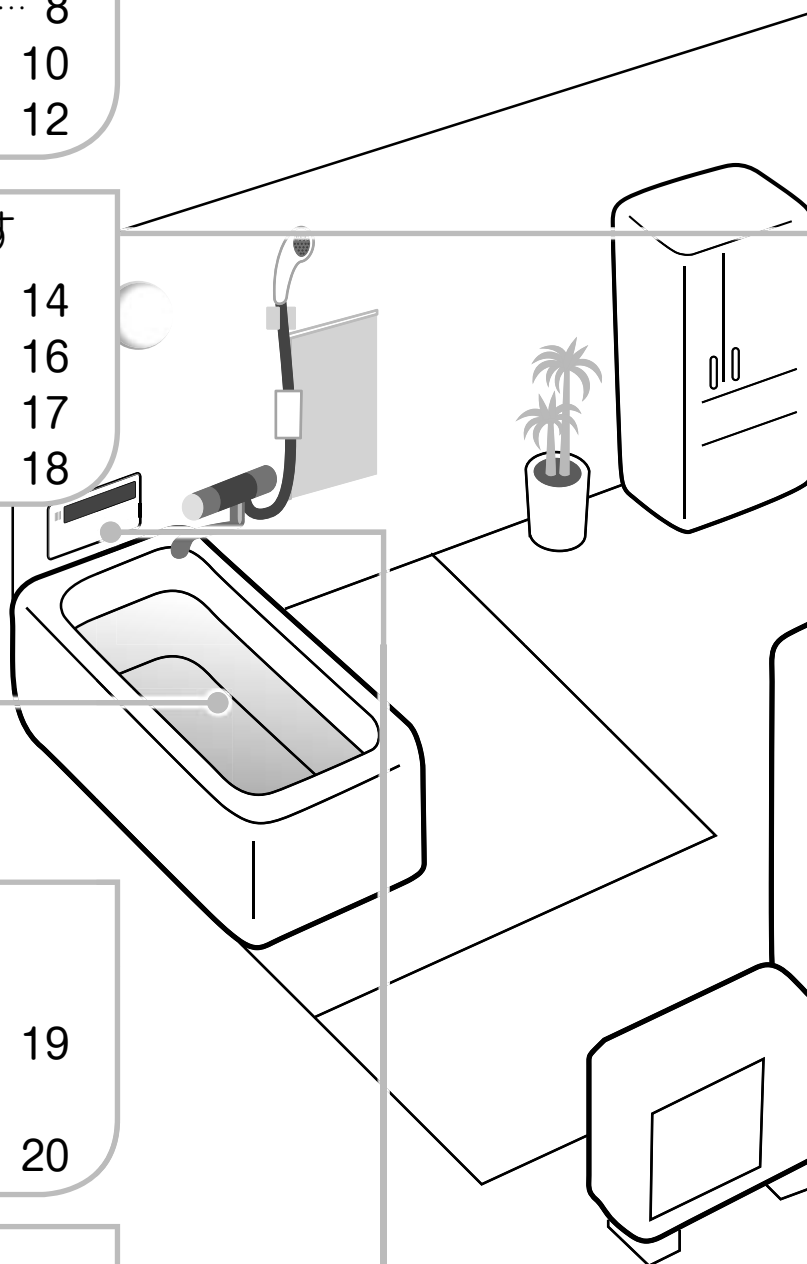
夜間の沸かししかた (沸き上げ)	14
昼間の自動沸き増し	16
数日間お湯を使わないとき	17
沸き上がりの時間を早める	18

お風呂でできること

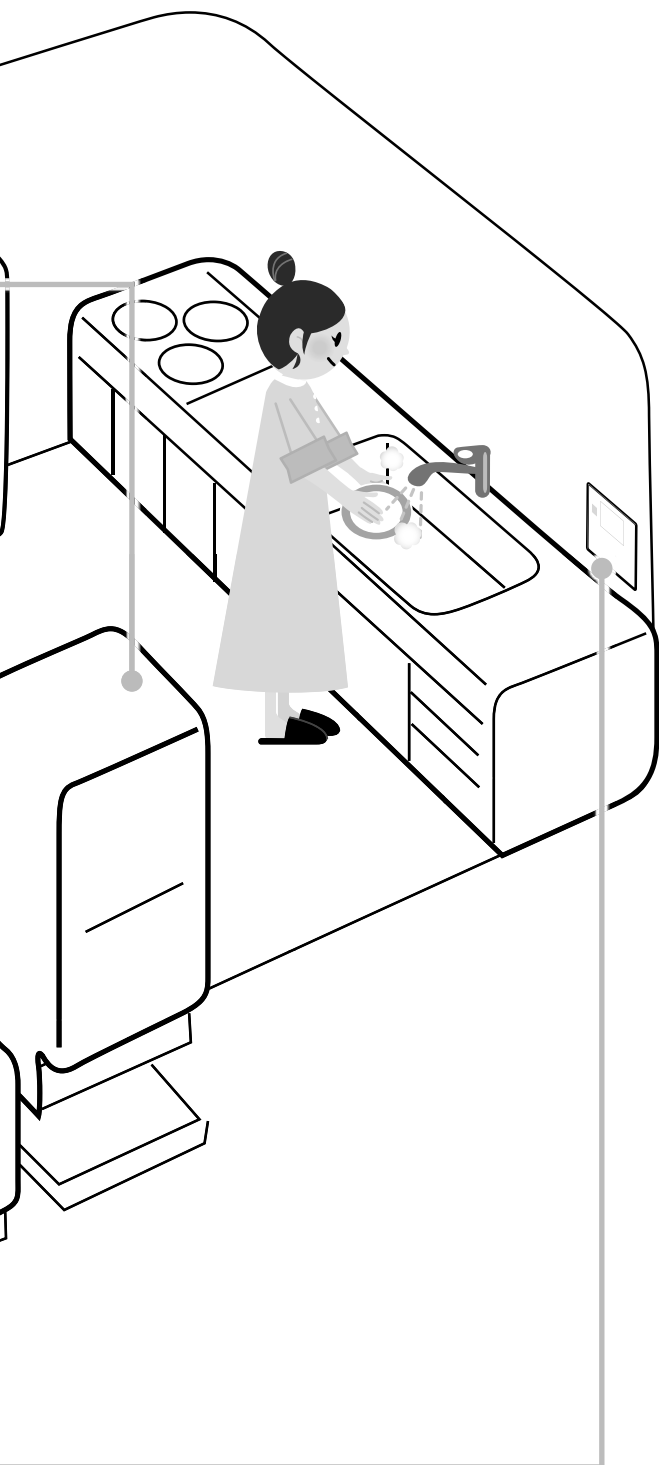
湯かげんを自動で	
調節する (保温・たし湯)	19
銀イオンの湯について	
(「銀イオンの湯」搭載機種のみ)	20

リモコンのいろんな機能

リモコンの機能	22
連絡先電話番号を登録する	24
設定を初期化する	25



本書「取扱説明書」では、エコキュートの詳しい使いかたを説明しています。
基本的な操作を知りたいときは別冊「使いかたガイド」を参照してください。



お手入れ

浴槽のお手入れ……………	26
浴槽循環金具／リモコンのお手入れ ……	27
貯湯ユニットへの水の貯めかた ……	28
貯湯ユニットのお手入れ ……	30
点検する……………	31

こんなときには

冬が来る前に（凍結を防止する） ……	32
停電のとき……………	34
断水や水道工事のとき……………	35
非常時にタンクの水を取り出すとき ……	36
長期間使わないとき （タンクの排水・配管の水抜き）……………	38
家族構成が変わったとき……………	42
電力契約を変えたとき……………	43
水やエアを抜くとき……………	44
給湯や湯はりを制限したいとき……………	45

製品仕様……………	46
-----------	----

お問い合わせの前に

お問い合わせの前に……………	48
----------------	----

5年保証に関する免責事項……………	59
-------------------	----

各部の名前と
はたらき

貯湯ユニットの
お湯を沸かす

お風呂で
使えること

リモコンの
いろんな機能

お手入れ

こんな
ときには

お問い合せ
の前に

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- 設置にかかわる注意事項は、工事説明書に記載しておりますので、そちらも合わせてご確認ください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

表示の説明		誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。	
 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	 注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。
図記号の説明		守っていただかなければならない内容を、図記号で示しています。	
 禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で指示します。		 指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や絵や文章で指示します。	

警告

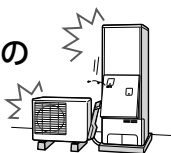


分解・修理・改造・移設しない

- 不備があると火災・感電・水漏れの原因になります。(修理は販売店または工事店にご依頼ください)

ヒートポンプユニットのバルブカバーや貯湯ユニットの前面カバーは開けない

- ショート・感電の原因になります。

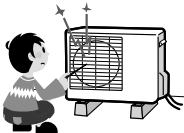


機器の近くにガス類の容器や引火物を置かない

- 発火の原因になります。

ヒートポンプユニットの吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

- 内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因になります。



浴槽循環金具のフィルターがゆるんでいたりはずしたままで使わない

- 髪の毛などが吸い込まれ事故や故障の原因になります。



ヒートポンプ配管や接続口には触れない

- やけどの原因になります。



逃し弁点検時には、逃し弁レバー以外に触れない

- やけどの原因になります。



貯湯ユニットの排水時は熱湯が出るので、お湯に触らない

- やけどの原因になります。

給湯時は蛇口に触れない

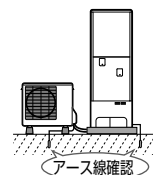
- やけどの原因になります。



アース工事がされていることを確認する

アースを接続する

- 故障や漏電のときに感電の原因になります。(販売店または工事店にご確認ください。)



漏電しゃ断器はぬれた手で操作しない

- 感電の原因になります。

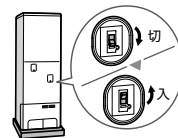
ぬれ手禁止



漏電しゃ断器の動作を定期的に確認する(年に2~3回)

指示

- 故障のまま使用すると、感電や火災の原因になります。



お湯の使い始めはしばらくお湯に触れない

- 空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因になります。特に朝の使い始めはご注意ください。

追いだし・自動保温・たし湯時のポンプ循環中は浴槽循環金具から離れる

- 熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

浴槽循環金具付近で潜らない

- 髪の毛が吸い込まれるなど思わぬ事故の原因になります。特に子供の入浴に注意してください。



お湯を使うときは

お湯の温度を確認する

- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認しないとやけどの原因になります。



給湯温度を変更するときは、他でお湯を使っていないことを確認する

- やけどの原因になります。

お湯を出し始めるときは必ず水を出しながらお湯を出す

- お湯だけ出すと、高温のお湯でやけどをする原因になります。

警告



異常・故障時は、すぐに使用を中止する

指 示

- 異常のまま使用すると火災・感電・やけどの原因になります。
- 漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げの販売店(工事店)または、東芝電気給湯機ご相談センターへご連絡ください。
《異常・故障時の例》
 - 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
 - お湯の出が悪かったり、早くなる。
 - 排水口から常にお湯が流れている。
 - 設置場所が常にぬれている。
 - 焦げくさいにおいや異常な音・振動がする。

注意



禁 止

機器の上に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない

- 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

そのまま飲用しない

- 長期間の使用によりタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わったりすることがあります。飲用される場合は以下の点に注意し、必ず、一度沸とうさせてください。
 - ・必ず水質基準に適合した水を使う。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっていた水)は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、にごり、異臭があった場合は、飲用には使用せず、すぐに点検を依頼する。

銀アレルギーの人は銀イオンの発生を止める(「銀イオンの湯」搭載機種のみ)

- 湯はりのお湯に銀イオンが入っています。
- 銀イオン発生機能は、止めることができます。

貯湯ユニットの水抜き時は熱湯を直接排水しない

- やけどや排水管破損の原因になります。
- 混合水栓のお湯側からお湯を使いきってから排水してください。

高圧洗浄機などで水洗いはしない

- 漏電による火災や感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの据付台は傷んだ状態で使わない

- ヒートポンプユニットの落下、転倒やけがの原因になります。

凍結のおそれがあるときは電源を切らない

- 凍結した配管などが破損し水漏れの原因になります。電源を切る場合は機器の水抜きをしてください。



接触禁止

ヒートポンプユニットのアルミフィンには触れない

- けがの原因になります。

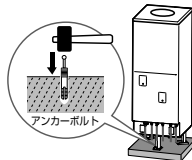


指 示

据え付け後は、次のことを確認する ※販売店(工事店)にご確認ください。

- 設置床面が防水処理・排水処理がされていること
 - ・水漏れが起きたとき大きな被害につながる原因になります。

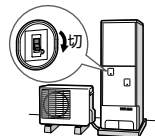
- 貯湯ユニットの脚が、アンカーボルトで固定されていること
(2階以上に据え付ける場合は、上部を別売部品の耐震強化金具で固定されていること。560Lタイプは、2階以上には据え付けないこと。)
 - ・地震などにより転倒してけがをすることがあります。



- 凍結防止対策(配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒーターなど)がされていること
 - ・正しく工事されていないと、配管が破損して水漏れやけがの原因になることがあります。

お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を「切」にする

- ヒートポンプユニットのファンが回転している場合があり、けがの原因になることがあります。

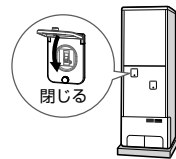


逃し弁が作動することを定期的に確認する

- 正しく作動しないと、水漏れの原因になることがあります。

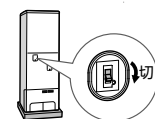
点検・操作の後には、貯湯ユニットの電源扉と逃し弁扉は閉じ、ねじを締める

- 雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。



1ヵ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、タンクの排水(水抜き)をする

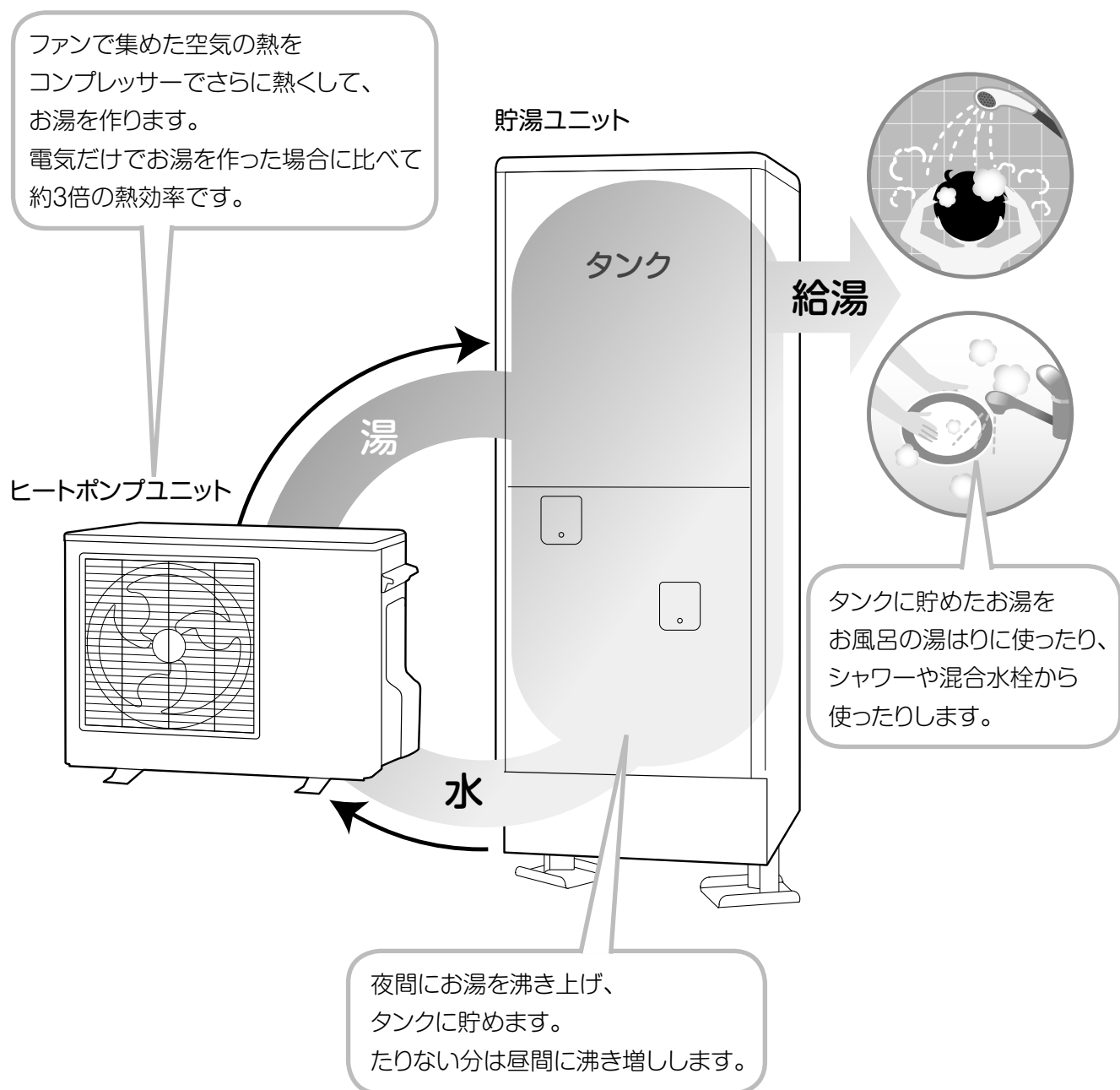
- 水質が変化し、飲用すると健康を害するおそれがあります。



エコキュートの仕組みと特長

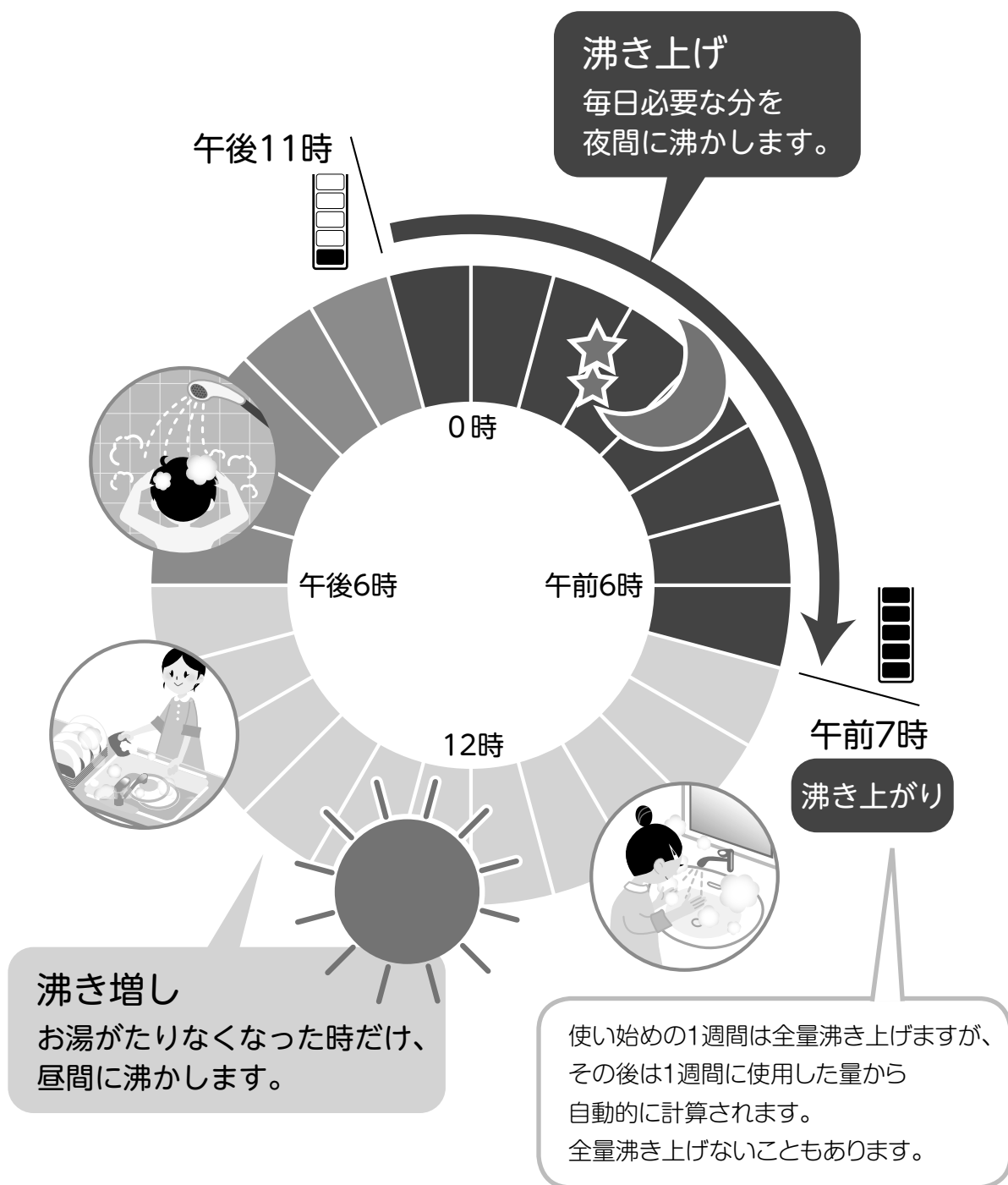
省エネPOINT 1

空気の熱でお湯を作ります



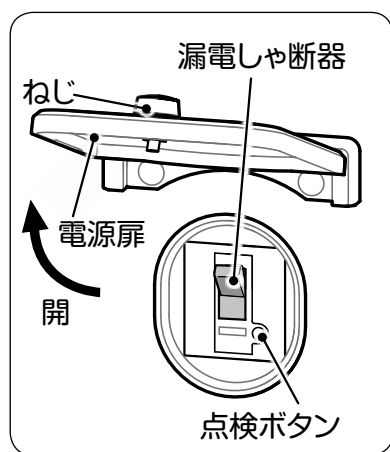
エコキュートは、空気中の熱と電気を利用してお湯を沸かします。
空気中の熱を使うことで省エネにつながるだけでなく、主に夜間電力で
お湯を沸かして貯めておくため、給湯コストも削減できます。

省エネPOINT 2 電気代の安い夜間に沸かします

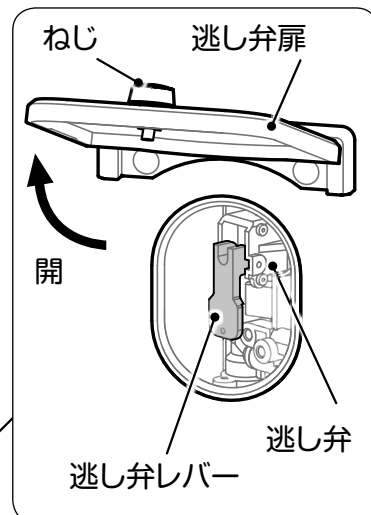


貯湯ユニット/ ヒートポンプユニット

説明のため、現場施工部品を組み込んだイラストになっています。

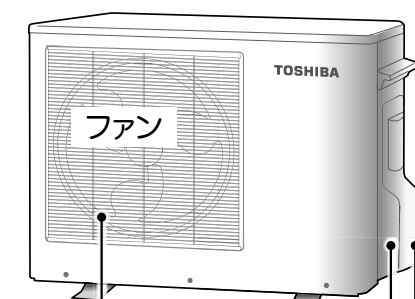


貯湯ユニット (360L, 460Lタイプ)



安全上のご注意ラベル
お読みいただきお守りください。

ヒートポンプユニット



空気吹出口

アース端子
(バルブカバーの
中にあります。)

バルブカバー

点検扉

ヒートポンプ
配管

浴槽配管

排水トラップ

排水栓扉

給水止水栓

貯湯ユニットに接続されている水道(給水)配管の途中に
設置されています。

製品に付属されていないため、
給水止水栓の取付位置や止水栓の形状は
ご家庭ごとに異なります。

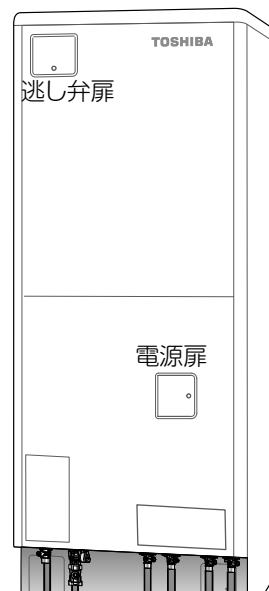
脚部カバーの中に設置されている場合もあります。

定格銘板
この製品の形名を記載
しています。

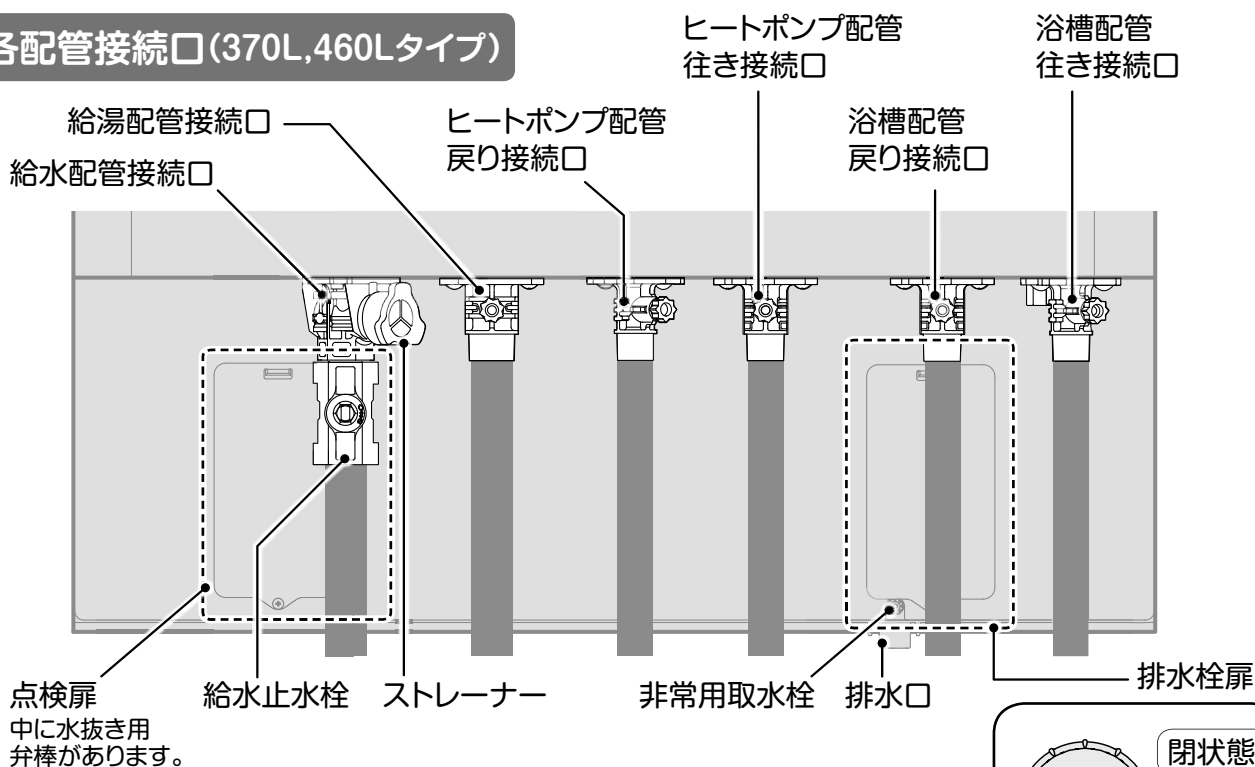
各配管接続口
(次ページ)

貯湯ユニット
(560Lタイプ)

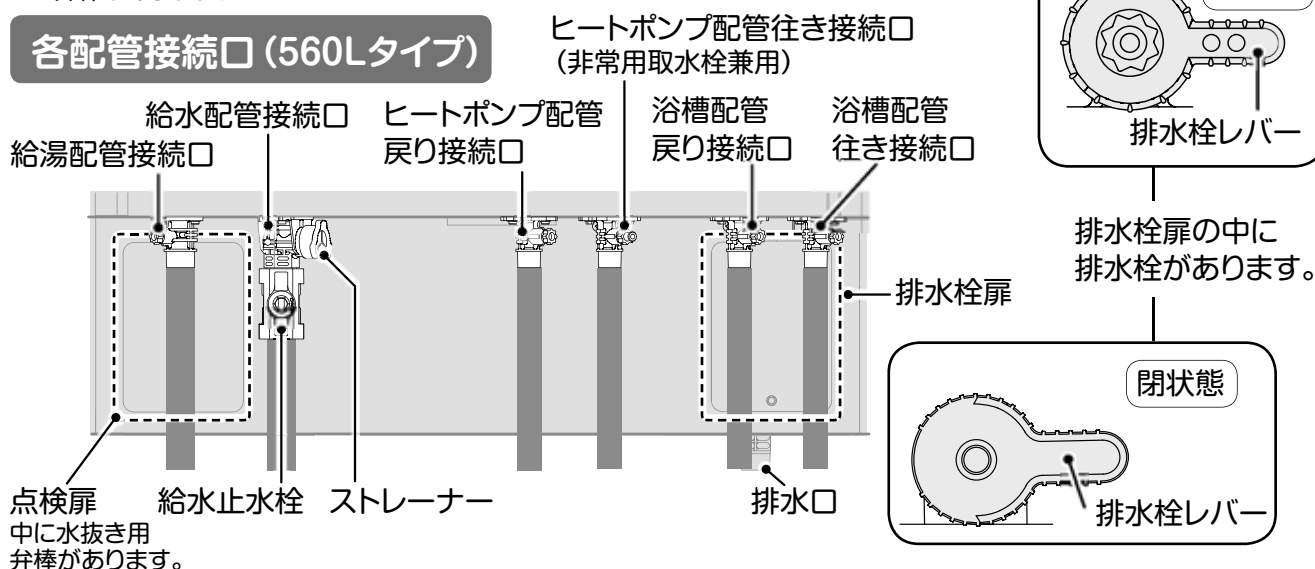
※電源扉と逃し弁扉の
位置が異なります。



各配管接続口(370L,460Lタイプ)



各配管接続口(560Lタイプ)



脚部カバー(別売部品)を取り付けている場合

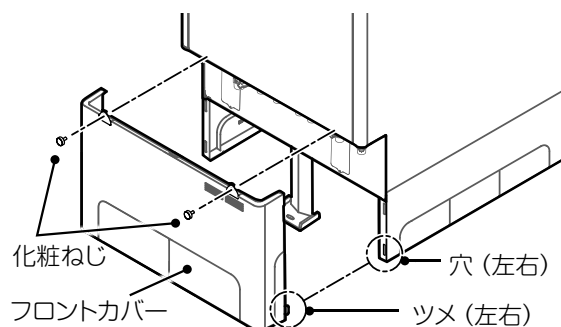
お手入れや点検・水抜き作業などは脚部カバーのフロントカバーを取りはずしてから行ってください。

取りはずしかた

化粧ねじ2本をはずし、
フロントカバーを
手前に引く。

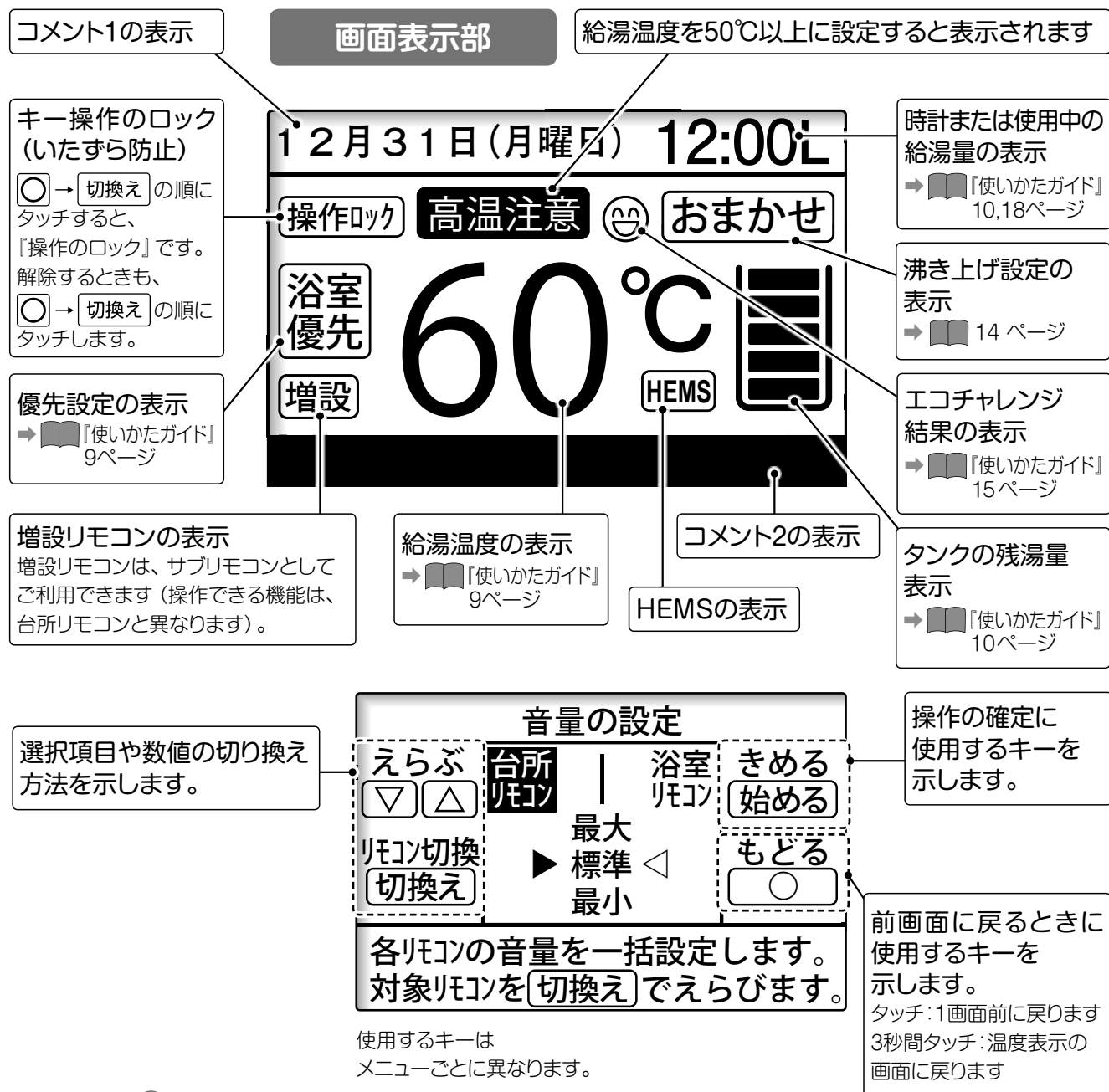
取り付けかた

左右の穴(各1カ所)に
フロントカバーのツメを合わせ、
化粧ねじ2本にて固定する。



台所リモコン (HWH-RM94F)

表示内容は、説明のために画面表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。
本文中のイラストは表示例であり、実際と異なることがあります。



お知らせ

コメント1/コメント2が表示されたとき

機器の状態や設定の内容などを表示しています。
状況に合わせ、ご確認ください。

水の近くで使うとき

台所リモコンに防水機能はありませんので、水や蒸気をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。

浴室



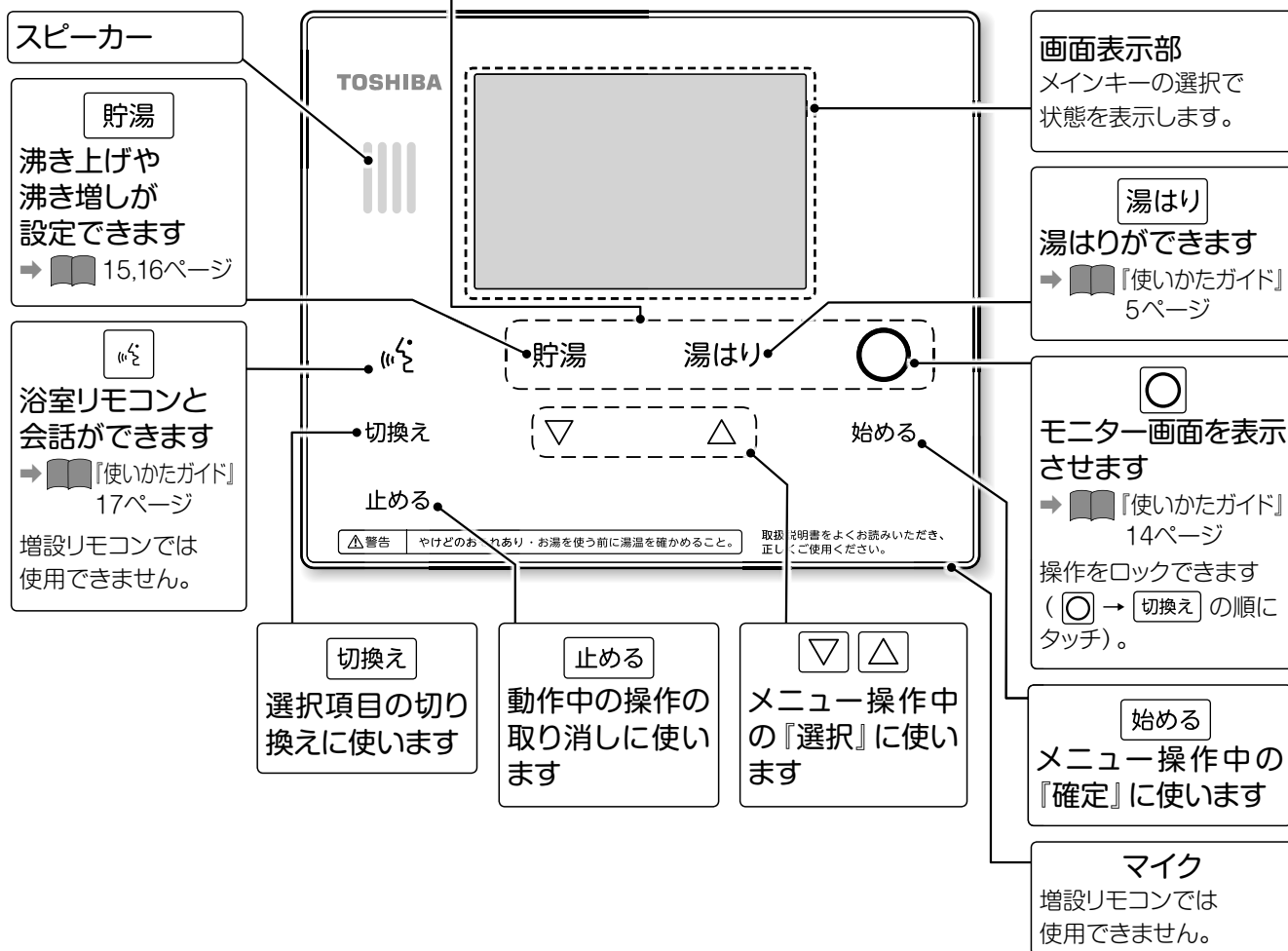
台所



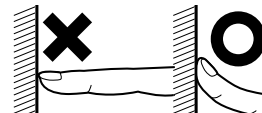
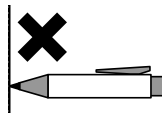
ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

キー操作部

これら3つのボタンはタッチの長さによって
機能が異なります。(タッチまたは3秒タッチ)

リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

文字部分を触ると操作できます。
(画面表示部にタッチしても操
作できません。)

キーが点灯しないとき

- リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。
- 一定時間操作がないとキーとバックライトが消灯します。
(初期設定: 1分)
消灯時間は、【表示の設定】メニューで変更できます。
→ 22~23 ページ

増設リモコンでは…

- 浴室リモコンとの会話はできません。
- リモコンの設定は【日時の設定】と、
【表示の設定】→【液晶表示濃淡】のみ変更できます。
→ 22~23 ページ → 『使いかたガイド』18ページ

浴室リモコン (HWH-RB94F)

表示内容は、説明のために画面表示とキー表示を全点灯状態で表示してあります。

画面表示部

優先設定の表示

→ 『使いかたガイド』 8ページ

湯かげん高温設定時の警告表示

→ 『使いかたガイド』 6ページ

イオンの表示

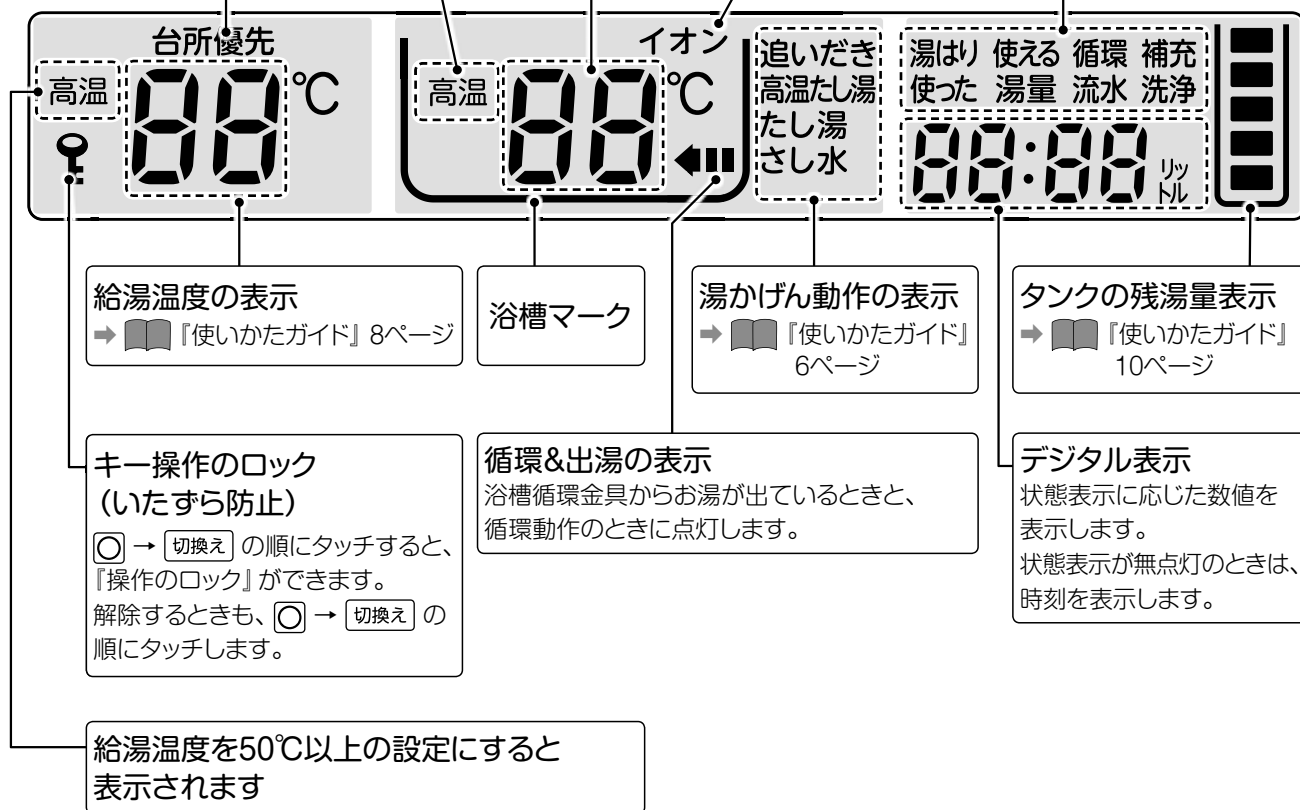
銀イオンが出ているときに点灯します。
→ 『使いかたガイド』 20ページ

湯はり温度の表示

→ 『使いかたガイド』 4ページ

状態表示

デジタル表示部が何を表示しているかを示します。無点灯は時計表示を示します。



お知らせ

浴室リモコンに【台所優先】が表示されていると

給湯温度 は白色で点灯し、▽ △ は点灯せず、浴室リモコンで給湯温度を変更できません。

浴室リモコンに水がかかるとき

浴室リモコンは防水タイプですが、水を直接かけないようにしてください。

ワンポイント!

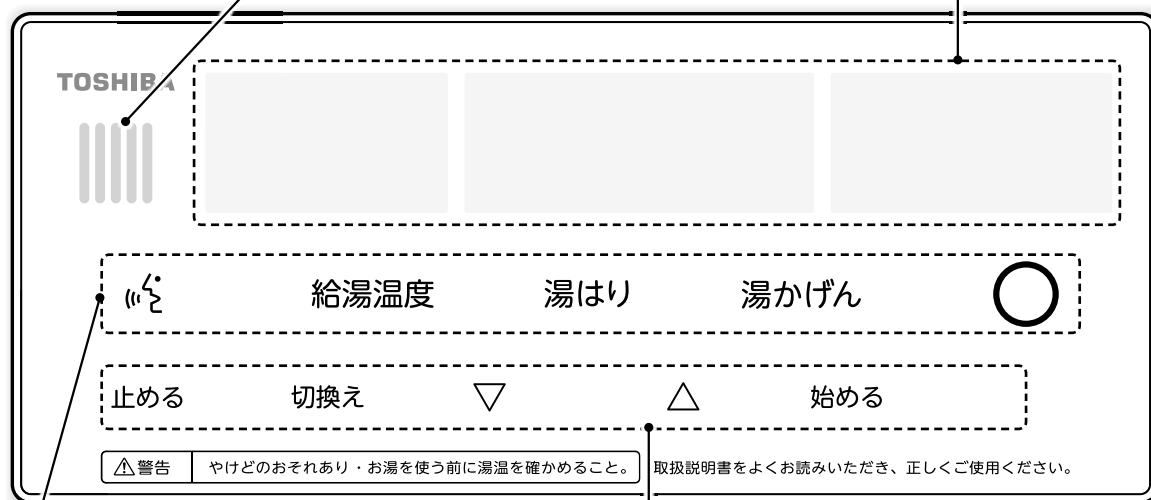
表示が消えている
ときは○にタッチ

キー操作部

スピーカー

画面表示部

メインキーの選択で状態を表示します。



給湯温度 湯はり 湯かげん ○

メインキー

浴室で使用する機能のキーです。
タッチすると操作できるサブキーが点灯します。

止める 切換え ▼ ▲ 始める

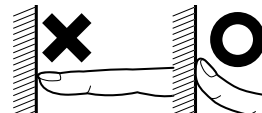
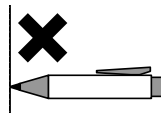
サブキー（調節&選択のキー）

メインキーにタッチすると選択できるキーが
点灯します。

マイク

リモコンはボタン式ではなくタッチ式です。

文字部分を触ると操作できます。

(画面表示部にタッチしても)
操作できません。

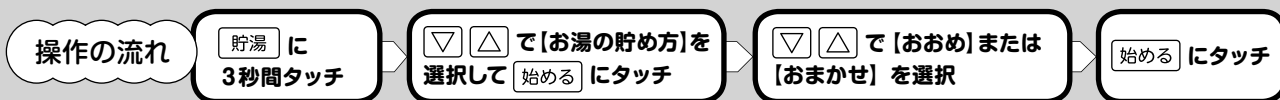
キーが点灯しないとき

- リモコンは、操作できるキーだけが点灯します。
- 一定時間操作しないと、キーと表示が消灯します。
(初期設定: 1分)
消灯時間は、【表示の設定】メニューで変更できます。

➡ 22~23 ページ

夜間の沸かしかた（沸き上げ）

エコキュートは、主に夜間電力を使って1日に必要な量のお湯を自動で沸き上げます。
沸き上げには「おまかせ」と「おおめ」の2モードがあります。ご家庭のお湯の使用量に合わせて選択してください。



エコキュートはご家庭のお湯の使用状況を学習して沸き上げています。



「最初の1週間」は学習のため、朝に全量になるように沸き上げます。
「学習」すると使用状況にあったお湯の量を沸き上げます。

沸き上げモードは、右記の2モードです。

初期設定は、「おまかせ」モードです。

沸き上げモード	おまかせ	おおめ
リモコン表示	(月曜日) 12:00 おまかせ 7℃	(月曜日) 12:00 おおめ 7℃
沸き上げ方法	節約・省エネ お使いのお湯の量を学習して、必要な量だけお湯を自動で沸き上げます。	使い勝手優先 「おまかせ」よりも沸き上げ温度を高め、お湯の量を多めに沸かす、使い勝手を優先するモードです。
タンク湯量	湯量少なめ	湯温高め 湯量多め
電気料金	少なめ	多め



朝になっても、残湯量が全量になっていない

お湯の使用量によっては、全量を沸かしません。
朝になって全量表示していなくても異常ではありません。
（最初の1週間は最適な湯量を学習するため、朝に全量になるように沸き上げます。
学習すると使用状況に合った量・温度のお湯を沸き上げます。）

沸き上げ中は…

ヒートポンプユニットから運転音がします。
外気温が低いときは、運転音が大きくなる場合があります。



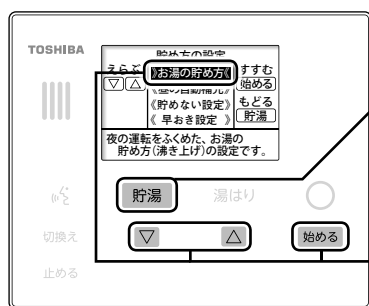
ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

貯湯ユニットの
お湯を沸かす

夜間の沸かしがた（沸き上げ）

台所



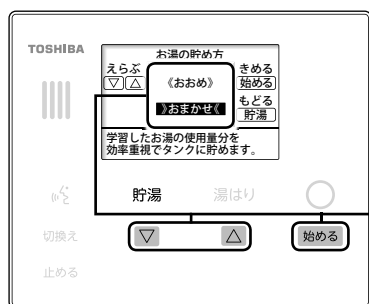
1

貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2

▽ ▲ で【お湯の貯め方】を選択し、
始める にタッチ



3

▽ ▲ で【おおめ】または【おまかせ】を選択し、
始める にタッチ

お湯がたりないとき

- 昼間時間帯（朝～昼）はお湯がたりないときだけ自動沸き増しします。

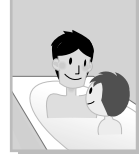
➡ 16 ページ

- 自動沸き増しを止めて、手動で沸き増しをすることもできます。

➡ 『使いかたガイド』12～13ページ

- 翌日に来客などでお湯の不足が予想される場合、一晩だけ全量で沸かす設定ができます。

➡ 『使いかたガイド』16ページ



昼間の自動沸き増し

昼間時間帯（朝～夜）は、お湯がたりないときだけ自動沸き増しします。
自動沸き増し運転は、止めることもできます。

操作の流れ

貯湯 に
3秒間タッチ

▽ ▲ で【昼の自動補充】を選択して
始める にタッチ

▽ ▲ で
項目を選択

始める にタッチ

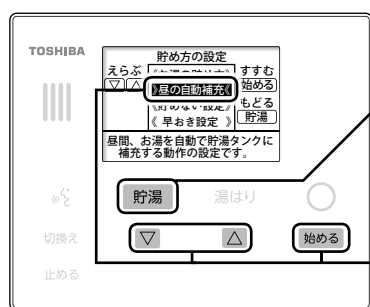
お願い!!

自動沸き増しを止めるときは、
残湯量目盛りに注意してお使いください。

ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



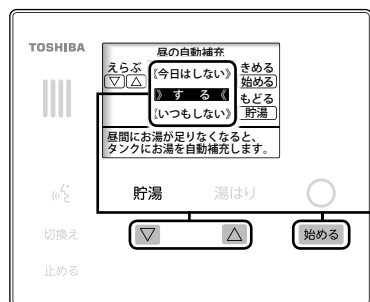
1

貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2

▽ ▲ で【昼の自動補充】を選択し、
始める にタッチ



3

▽ ▲ で項目を選択し、
始める にタッチ

今日はしない	設定した当日だけ、自動沸き増しをやめます。
する	自動沸き増しをする設定です。
いつもしない	設定した日から自動沸き増しをやめます。 解除するまで沸き増し停止が続きます。

お知らせ

お湯がたりないとき

- 自動沸き増しを止めてお湯がたりないときは、
必要に応じて手動沸き増しを行ってください。
→ 『使いかたガイド』12～13ページ
- 自動沸き増しを止めてお湯のたりない日が続くときは、
沸き上げ設定を「おおめ」にすることをおすすめします。
→ 14 ページ

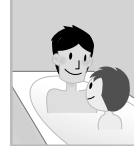
自動沸き増しを止めたのに、 ヒートポンプユニットが動いている

外気温が低い場合は、ヒートポンプユニットの凍結防止のために
沸き上げを行う場合があります。

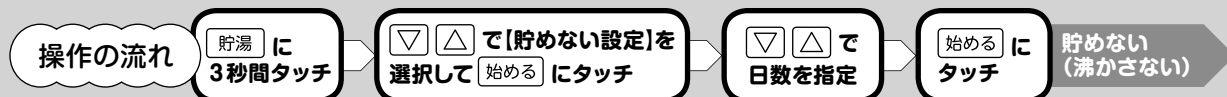
数日間お湯を使わないとき

浴室

台所



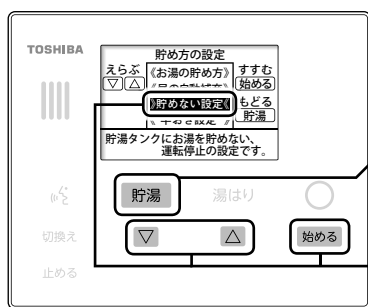
旅行などで家を留守にするときは、指定した日数お湯を貯めない（沸かさない）ように設定できます。



ワンポイント!

表示が消えているときは○にタッチ

台所



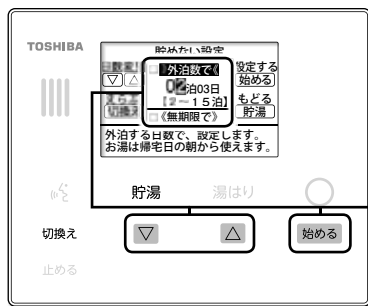
1

「貯湯」に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2

▽△で【貯めない設定】を選択し、
「始める」にタッチ



3

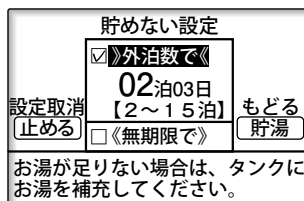
▽△で日数を指定し、
「始める」にタッチ

・(例) 2泊3日の旅行に出かけるときは、
日数を『02泊03日』に設定してください。

留守にする期間が
未定のときは…

「切換え」で【無期限で】を
選択して「始める」に
タッチします。

設定中の画面



設定を取り消すときは…

「止める」にタッチします。



お知らせ

日数を指定したとき

帰宅日の前夜からお湯を沸かします。

無期限を指定したとき

設定を解除するまでお湯を沸かしません。

長期間（1ヵ月以上）使わないとき

タンクの排水と配管の水抜きをしてください。

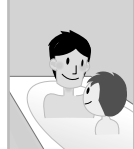
⇒ 38～41ページ

貯めない設定をしていても

外気温が低い場合は、ヒートポンプユニットの凍結防止のために
沸き上げを行うことがあります。

沸き上がりの時間を早める

浴室



台所



外気温が高い時期には、朝の沸き上がり時間を1時間早める設定ができます。
ソーラーパネルで発電した電気を貯湯以外に使いたいときの設定です。

操作の流れ

貯湯 に
3秒間タッチ

▽ ▲ で【早おき設定】を
選択して 始める にタッチ

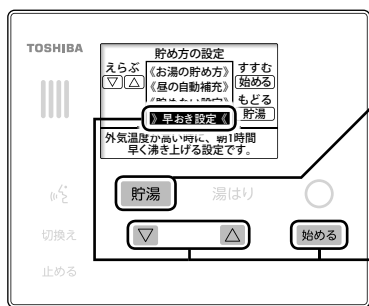
▽ ▲ で【する】または
【しない】を選択

始める にタッチ

ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



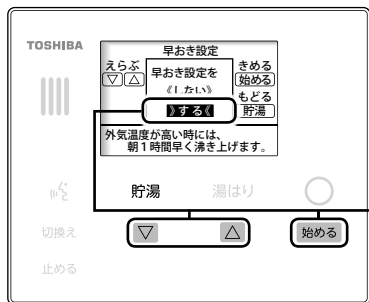
1

貯湯 に3秒間タッチ

【貯め方の設定】画面が表示されます。

2

▽ ▲ で【早おき設定】を選択し、
始める にタッチ



3

▽ ▲ で【する】を選択し、
始める にタッチ

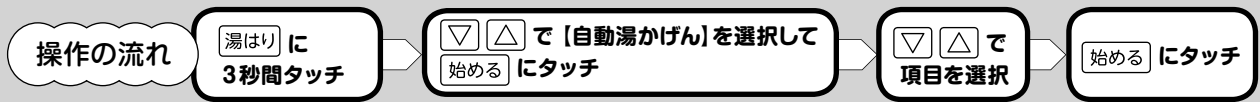
貯湯ユニットの
お湯を沸かす

沸き上がりの時間を早める

湯かげんを自動で調節する（保温・たし湯）



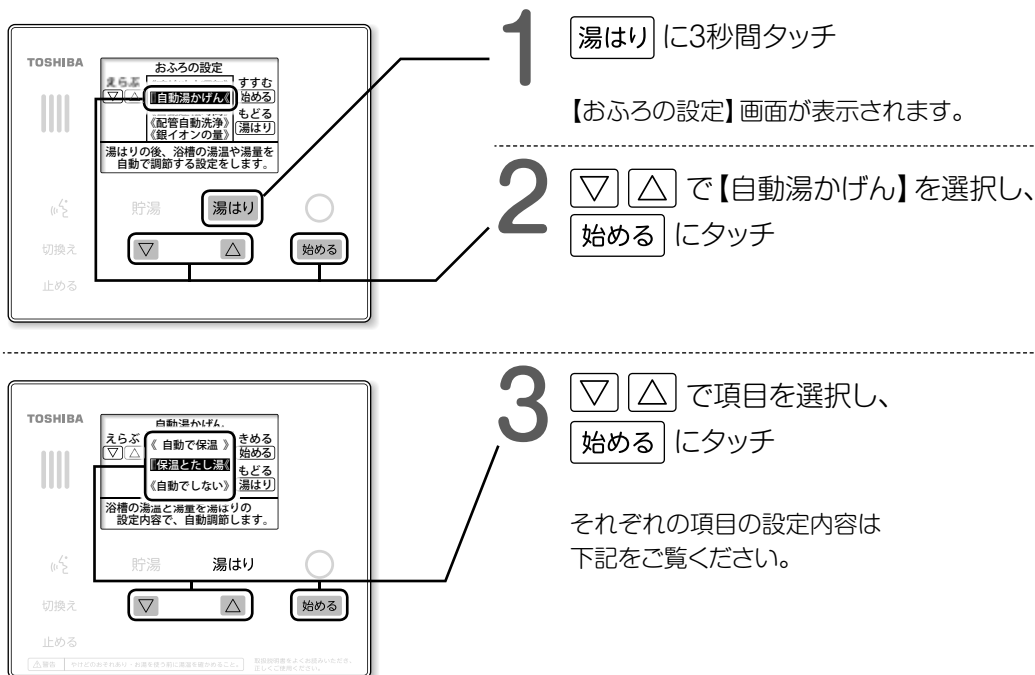
湯はり後に、自動で行う保温やたし湯を変更できます。



ワンポイント!

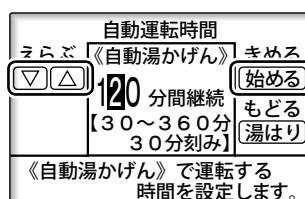
表示が消えているときは□にタッチ

台所



自動で保温	湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度が下がると自動で保温します。	● 自動湯かげんの運転時間は30～360分まで30分刻みで設定できます。（初期設定は120分です） ● 自動湯かげんの運転時間は短めに設定することをおすすめします。長く設定すると、タンクの湯温が下がり、残湯量目盛りが減ることがあります。
保温とたし湯	湯はりの後、設定した時間中、浴槽の温度や水位が下がると自動で保温やたし湯をします。	
自動でしない	湯はりの後は、保温やたし湯を行いません。	この設定のときだけ、湯はり量を60～600Lの範囲で設定できます。半身浴など、浴槽循環金具より下の湯量で湯ほりをしたいときに選択してください。

自動湯かげんの時間設定



自動湯かげんの運転時間は、手順2で【自動運転時間】を選択して表示された画面で設定します。

▽ ▲ で時間を指定し、
始める にタッチします。

お風呂で
できること

湯かげんを自動で調節する（保温・たし湯）

銀イオンの湯について (「銀イオンの湯」搭載機種のみ)

「銀イオンの湯」搭載機種では、湯はりとなし湯の際に、銀イオンを発生させています(自動保温中のなし湯と高温なし湯は除く)。銀イオンの量は、下記の手順で変更します。

操作の流れ

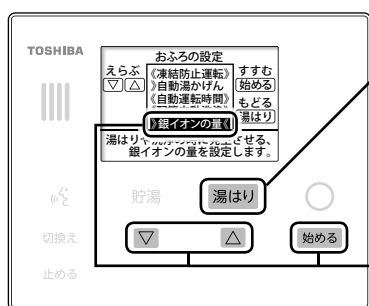
湯はりに
3秒間タッチ

▽ ▲ で【銀イオンの量】を選択して
始める にタッチ

▽ ▲ で
項目を選択

始める にタッチ

台 所



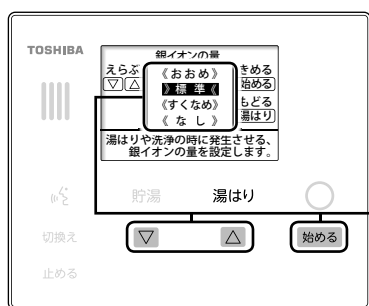
1

湯はりに3秒間タッチ

【お風呂の設定】画面が表示されます。

2

▽ ▲ で【銀イオンの量】を選択し、
始める にタッチ



3

▽ ▲ で項目を選択し、
始める にタッチ

入浴される人数や季節など
使いかたで変更することができます

おおも	夏場やいつもより入浴人数が多いときなど、標準よりも効果を強くしたいときなど。
標 準	お買い上げ時の設定です。
すくなめ	入浴人数が少ないときや入浴間隔が短いとき。交換時期を長くしたいとき。(効果が感じられなかったら、設定を標準や多めに変更してください。)
な し	銀イオンの発生を止めたいとき。

黒ずみが気になる場合は、
銀イオンの量を【すくなめ】か
【なし】に設定することをおすすめします。



お知らせ

銀イオンでお風呂の汚れも落とせるの？

銀イオンはお風呂のお湯のおいのもとになる菌を除菌する効果なので、お風呂の汚れは落とせません。お風呂の汚れは、浴室用中性洗剤などを使って掃除してください。

銀イオンの効果が出ていないのでは？

においやヌメリの軽減効果は、水質やお湯の使用状況により変わります。



ワンポイント!

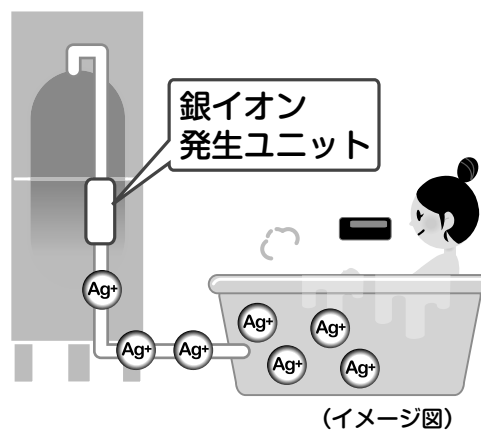
表示が消えている
ときは○にタッチ

『銀イオンの湯』は、除菌・防臭効果があります。

次に入浴されるかたにも
きれいなお湯を楽しんでいただけます。

翌日の洗濯などに利用するときにも
銀イオンがない場合と比較して、
きれいでにおいが少ない水が利用できます。

浴槽配管内の菌繁殖抑制にも効果があります。
(自動保温が設定されている場合)



お風呂で
できること

銀イオンの湯について

『銀イオンの湯』は、浴槽の残り湯を再利用する「節水湯はり」ができます。

湯はりで設定した温度と湯量になるように、高温のお湯をたしながら自動で調整して湯はりを行いますので、
浴槽に残した水（お湯）の分が節水できます。

※節水湯はりをする場合は、【銀イオンの量】を「おおめ」に設定してください。

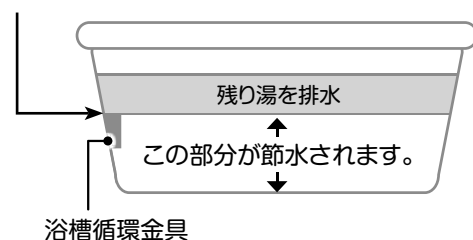
※節水湯はりの目安は1回です。2回以上繰り返すと、においやヌメリが気になる場合があります。

- 1 浴槽の残り湯を
浴槽循環金具の上まで排水します。

- 2 湯はり → 始める にタッチします。

- ・湯はり開始のガイダンスが流れ、湯はりを開始します。
- ・湯はりが終わると、自動で保温とたし湯を行います。
- ・途中で止めるときは、湯はり → 止める にタッチします。

浴槽循環金具の上部が目安



浴槽の黒ずみが気になるときは…

- 銀イオンは光と反応し、黒ずみの原因となる場合があります。
入浴時以外は、浴槽のふたを利用して
光を残り湯に当てないようにお使いください。

→ 26 ページ

- 残り湯を洗濯水などに利用し終わったら、
お湯を抜いて浴槽を軽く洗い流してください。
- 黒ずみは、浴室用塩素系カビ落とし剤で落とすことができます。

→ 26 ページ

リモコンの機能

ガイダンスや操作音の音量、表示の点灯時間・タッチスイッチ（キー）の感度など、お好みに合わせて設定できます。（浴室リモコンの設定変更も台所リモコンで行います）

操作の流れ

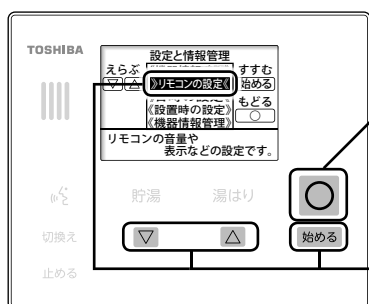
 に3秒間
タッチ

  で【リモコンの設定】を選択して
始める にタッチ

  で
項目を選択

始める にタッチして
リモコンの各種設定

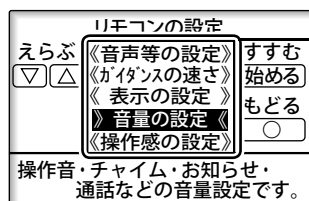
台 所



1  に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2   で【リモコンの設定】を選択し、
始める にタッチ



3   で設定したい項目を選択し、
始める にタッチ

リモコンの
いろんな機能

リモコンの機能

音声などの設定 えらぶ   有無切換  もどる  きめる  もどる  ※警告は消せません。	音声などの設定 操作音、チャイム音、各種お知らせガイダンスの音の有無を設定します。   で項目を選択し、切換え でチェックマークの有無を設定します。
ガイダンスの速さ えらぶ   標準  少し遅く  遅く  両リモコンのガイダンスの速さを一括設定します。	ガイダンスの速さ ガイダンスのナレーションの速さを設定します。   で速さを指定し、始める で決定します。
表示の設定 えらぶ   待機中の時計  待機中のキー  待機移行時間  液晶表示濃淡  給湯量の告知  リモコンが、待機（省エネ）状態になるまでの時間を設定します。	表示の設定 待機中画面への移行時間や待機中の表示、液晶画面の濃淡などを設定します。 設定項目の詳細 →  次ページ   で設定したい項目を選択し、始める にタッチします。

手順3の画面に戻るには…

 にタッチ

通常画面に戻るには…

 に3秒間タッチ

ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

音量の設定 えらぶ 台所 浴室 きめる ▽△ リモコン 最大 始める リモコン切換 標準 ◀ もどる 切換え 最小 ○ 各リモコンの音量を一括設定します。 対象リモコンを[切換え]でえらびます。	音量の設定 リモコンの操作音や各種お知らせガイダンスなどの音量を設定します。 [切換え] でリモコンを指定します。 ▽△ で音量を指定し、[始める] で決定します。
操作感の設定 えらぶ 台所 浴室 きめる ▽△ リモコン 高反応 始める リモコン切換 標準 ◀ もどる 切換え 低反応 ○ タッチキーの操作感を変えます。 対象リモコンを[切換え]でえらびます。	操作感の設定 リモコンのタッチキーの操作感度を設定します。 [切換え] でリモコンを指定します。 ▽△ で操作感を指定し、[始める] で決定します。

【表示の設定】メニュー

待機中の時計 えらぶ 待機中の きめる ▽△ 時計表示 始める 《しない》 もどる 《する》 ○ 待機(省エネ)中の浴室リモコンに時計を表示させない設定です。	待機中の時計 浴室リモコンの待機(省エネ)中画面での時計表示の有無を設定します。 ▽△ で【する】/【しない】を選択し、 [始める] で決定します。
待機中のキー えらぶ 待機中の きめる ▽△ キー表示 始める 《する》 もどる 《しない》 ○ 待機(省エネ)中のリモコンのキー表示をする設定です。	待機中のキー 待機(省エネ)中に○キーを消灯させるか設定します。 ▽△ で【する】/【しない】を選択し、 [始める] で決定します。
待機移行時間 えらぶ きめる ▽△ 01分 始める 【1～60分】 もどる ○ リモコンが、待機(省エネ)状態になるまでの時間を設定します。	待機移行時間 リモコンが待機(省エネ)状態に移行するまでの時間を1～60分の範囲で設定します。 ▽△ で移行するまでの分数を設定し、 [始める] で決定します。
液晶表示濃淡 かえる きめる ▽△ 64 始める 【32～96】 もどる ○ 台所リモコンの表示の濃淡を数値の大小で設定します。	液晶表示濃淡 台所リモコンの液晶表示のコントラストを数値(32(淡)～96(濃))で設定します。 ▽△ で数値を指定し、[始める] で決定します。
給湯量の告知 えらぶ 台所 浴室 きめる ▽△ 表示と音◀ 始める リモコン切換 ▶表示のみ もどる 切換え 告知なし ○ 給湯中の告知方法の設定です。 対象リモコンを[切換え]でえらびます。	給湯量の告知 使用中の給湯量のお知らせをリモコンでどのように行するか設定します。 [切換え] でリモコンを指定します。 ▽△ で告知方法を指定し、[始める] で決定します。

【表示の設定】画面に
戻るには…

○にタッチ

通常画面に戻るには…

○に3秒間タッチ

リモコンの
いろんな機能

リモコンの機能

連絡先電話番号を登録する

浴室



台所



故障時に備えて、販売店や工事店の電話番号を登録しておきます。

操作の流れ

○に3秒間
タッチ

▽△で【機器情報管理】を選択して
始めるにタッチ

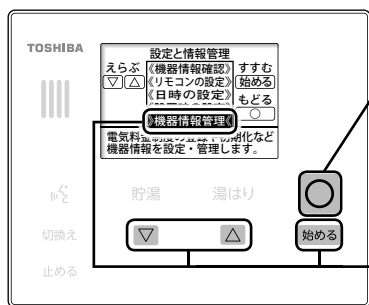
▽△で
【電話番号登録】を選択

始めるに
タッチ

ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



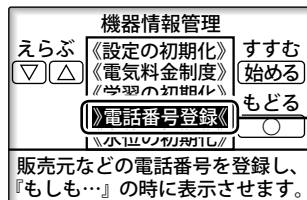
1

○に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

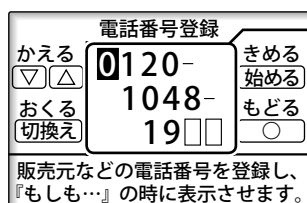
2

▽△で【機器情報管理】を選択し、
始めるにタッチ



3

▽△で【電話番号登録】を選択し、
始めるにタッチ



4

電話番号を入力

登録できる電話番号は
1つです。

数字を変えるには…

▽△で、数字を変更します。

桁を変えるには…

切換えで、次の桁に移ります。

5

始めるにタッチ

(始める にタッチしないと確定しません)

連絡先の電話番号を
呼び出すには…
手順1～3の操作を行い、
【電話番号登録】を表示させる

お知らせ

お買い上げ時の設定

お買い上げ時は、0120-1048-19（東芝電気給湯機ご相談センター）が登録されています。

リモコンの
いろんな機能

連絡先電話番号を登録する



設定を初期化する

リモコンの設定や機器が学習した設定を、初期状態に戻します。

操作の流れ



に3秒間
タッチ



で【機器情報管理】を
選択して 始める にタッチ



で
項目を選択



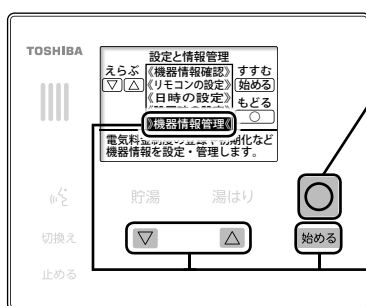
始める にタッチして
設定・学習・水位の初期化

ワンポイント!



表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



1



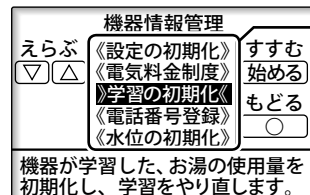
に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2



で【機器情報管理】を選択し、
始める にタッチ



3



で初期化したい項目を選択し、
始める にタッチ

リモコンの
いろんな機能

設定を初期化する

設定の初期化 えらぶ 設定したことを 初期の状態に 《しない》 《する》 きめる 始める もどる ○ 初期化するには、《する》を選んで、 《始める》に3秒間タッチします。	設定の初期化 音量やガイダンスの速さなど、 リモコンの設定を初期化します。
学習の初期化 えらぶ お湯使用量の 学習やり直しを 《しない》 《する》 きめる 始める もどる ○ 初期化するには、《する》を選んで、 《始める》に3秒間タッチします。	学習の初期化 機器が学習したお湯の使用量を初期化します。 不用意に操作しないでください。 思わぬ電気料金になることがあります。
水位の初期化 えらぶ ふろ水位データ 取り直しを 《しない》 《する》 きめる 始める もどる ○ 初期化するには、《する》を選んで、 《始める》に3秒間タッチします。	水位の初期化 湯はりの水位が安定しなかったり、浴槽からお湯が あふれるなどの現象が続く場合に行います。 機器が学習したお風呂の水位を初期化します。

▽△で【しない】または
【する】のいずれかを指定し、
《始める》を3秒間タッチして
決定します。

【機器情報管理】画面に
戻るには…

○にタッチ

通常画面に戻るには…

○に3秒間タッチ

浴槽のお手入れ

浴槽の清掃（日常）

浴槽の主な汚れは、一般的には湯あか（皮脂、角質などの皮膚の老廃物（あか）、石けんカス、ほこりなどが結合したもの）や水あか、空気中に微量浮遊している粒子状の物質（スス）が徐々に蓄積したものです。

また、浴槽材料によっては発泡系の入浴剤も汚れの原因となります。

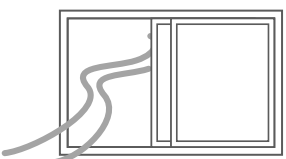
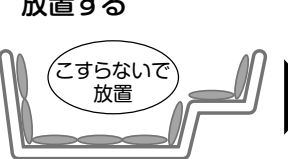
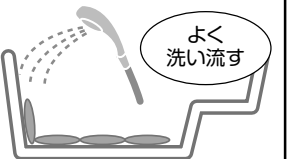
汚れの種類により浴室用中性洗剤やクレンザー（微粒子タイプ）などを使ってしっかりお掃除をしましょう。

残り湯を排水したまま放っておくと、汚れが乾いて落ちにくくなりますので、排水後すぐのお掃除がおすすめです。

お手入れ方法（「銀イオンの湯」搭載機種のみ）

- 1 市販の浴槽洗剤で掃除を行い、洗剤をよく洗い流します。（黒ずみをおおっている汚れを落とします）
 - 2 雑巾などで浴槽の水気を取ります。（洗剤を浸透させやすくします。）
 - 3 浴室用塩素系カビ落とし剤を黒ずみ全体に吹き付けて、しばらくおき、洗剤を洗い流します。（下図）
- 「銀イオンの湯」は、除菌・防臭に効果を発揮しますが、浴槽水中の銀イオンが光と反応して浴槽表面に銀として残り、黒ずみの原因になることがあります。
この場合は、以下のお手入れ方法で対処してください。（黒ずみがひどくなる前にお手入れしてください。）
なお、銀は食品添加物としても認可されており、人体への影響は報告されていません。
 - 銀イオン由来の黒ずみは光がきっかけで発生します。
入浴中以外は浴槽のふたを利用して光を当てないでください。その他、黒ずみの抑制方法については、
→ 21 ページを参照してください。

手順3 浴室用塩素系カビ落とし剤での洗浄方法

1. 換気確かめる  ●使用前に洗剤に記載された使用方法をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。	2. 浴室用塩素系カビ落とし剤を吹き付ける  ●色落ちなどがないか、浴槽の目立たないところで試してからお使いください。	3. そのまま5分程放置する  ●汚れの面をこする必要はありません。放置時間は洗剤に記載された使用方法を守ってください。長時間放置しますと、変色の原因になります。	4. 洗剤を洗い流す  ●洗剤が完全に流れきるまで、洗い流してください。
--	---	--	--

推奨洗剤：ジョンソン株式会社 強力浸透「浴室カビキラー」



浴槽やタイルが青くなる…

使用地域の水質や給湯機の銅配管により薄青になることがあります。これは、水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応してできるもので、人体には害はありません。使用時間とともに発生しにくくなりますが、市販の浴室用（油汚れ専用）洗剤で落とすことができます。

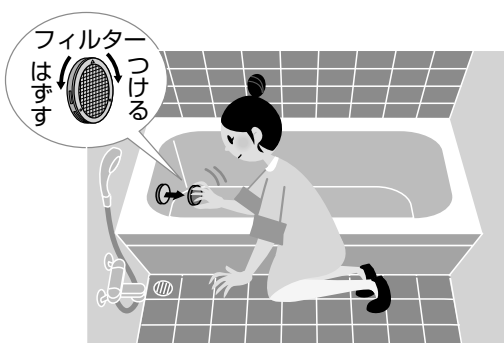
市販の浴室用（油汚れ専用）洗剤

- ・マジックリン（花王株式会社）
- ・速効湯アカ分解（株式会社リンレイ）など

浴槽循環金具／ リモコンのお手入れ

浴槽循環金具の掃除（週1回）

- 浴槽内のフィルターをはずし、1週間に1回程度掃除をしてください。フィルターが目詰まりすると、正常な湯はり・自動保温運転ができずお知らせコードが表示することがあります。
- 掃除後はフィルターを確実に取り付けてください。フィルターを取り付けずに使用すると、故障の原因になります。



リモコンの掃除（日常）

- 表面の汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。
- 洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。
- 台所リモコンは防水機能はありませんので、水をかけないようにしてください。
- 浴室リモコンにもお湯や水を直接かけないようにしてください。
- タッチキー部を掃除するときは、キー操作のロックで、操作を受け付けない設定にしてから掃除してください。
キー操作のロックは、台所リモコン、浴室リモコンとも  → 切換え の順でタッチしてください。
- たわしなど硬い物でこすると表面にキズがつきます。

貯湯ユニットへの水の貯めかた

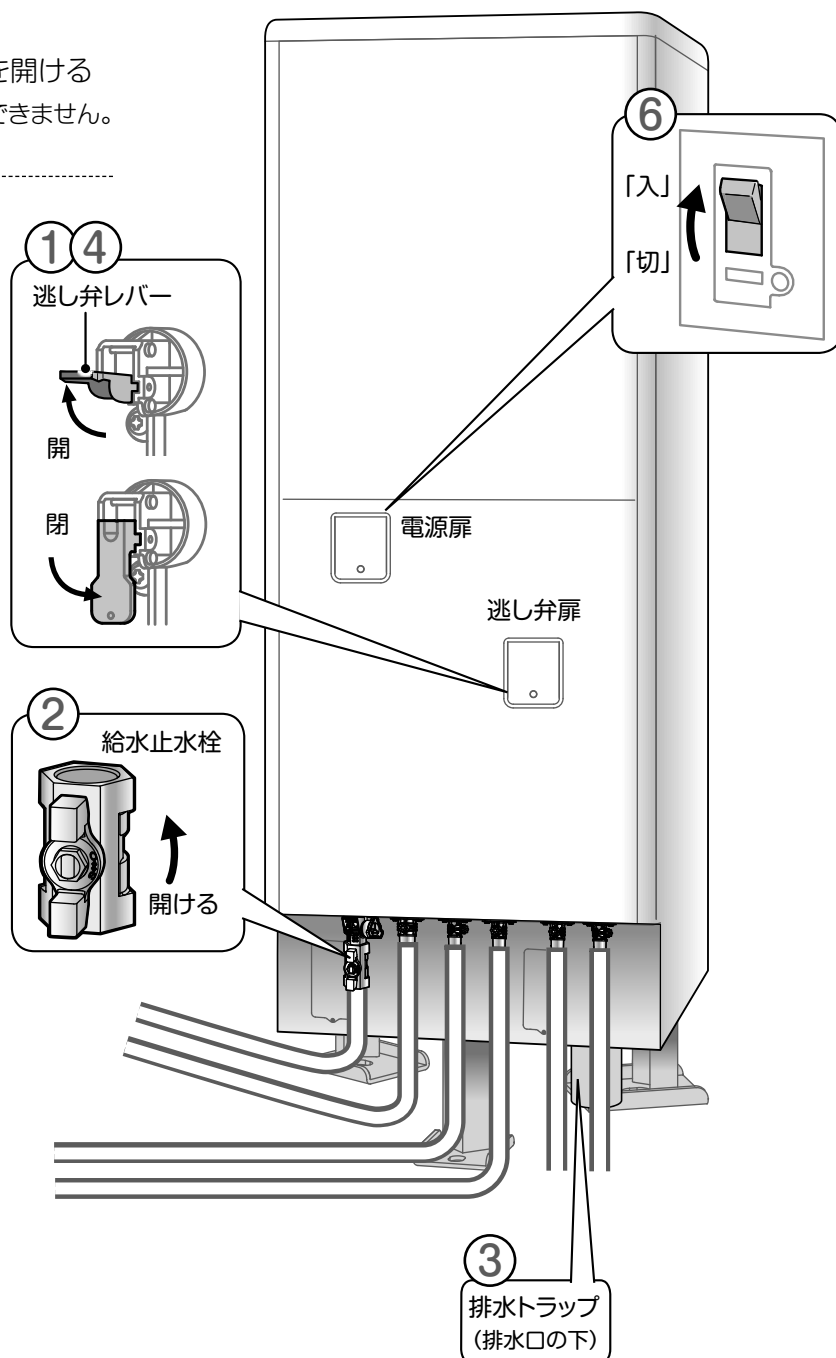
タンクが空になっていると、混合水栓のお湯側を開いても、お湯（水）が出ません。
下記操作を行ってタンクに水を貯めてください。

貯湯ユニット

- 1 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げて、逃し弁を開ける
● 逃し弁を開けないと、確実に給水できません。

- 2 給水止水栓を開ける
● 給水止水栓は、貯湯ユニットに
接続されている水道（給水）配管
の途中に設置されています。
● 給水止水栓の形状は、止水栓の
タイプにより異なります。

- 3 排水口から連続して勢いよく
水が出ることを確認する
● 給水止水栓を開けてから、
20～40分程度かかります。
● 排水口が見えないときは、
水の音で確認してください。



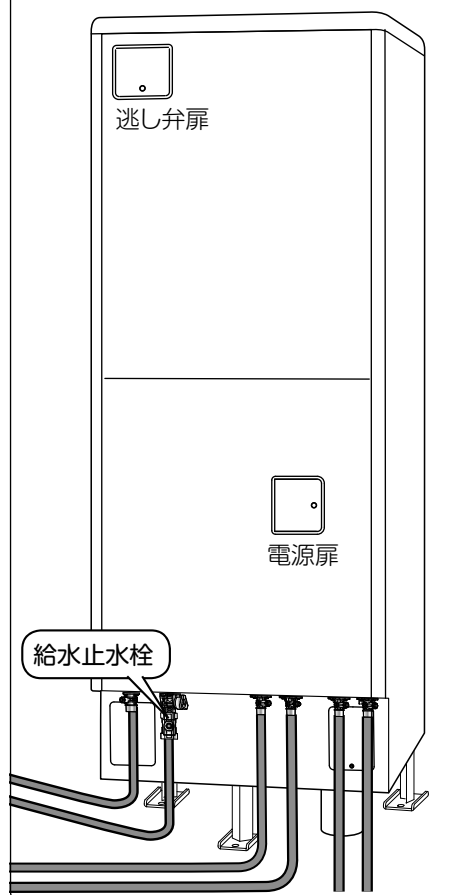
お知らせ

給水時について

- ・タンク内の空気の排出音が出ますが、故障ではありません。（満水になると音はしなくなります。）
- ・排水口から少量の水が出る場合がありますが、故障ではありません。

560Lタイプ

※電源扉と逃し弁扉・給水止水栓の位置が異なります。



- 4** 逃し弁レバーを戻し、
逃し弁扉を閉じる
- 逃し弁レバーを戻すと、
水も止まります。
 - 逃し弁扉を閉じ、
ねじを確実に締めます。

- 5** 混合水栓のお湯側を開く
(下図)
- 水が連続的に出ることを
確認します。
 - 確認できたら、
混合水栓を閉じます。

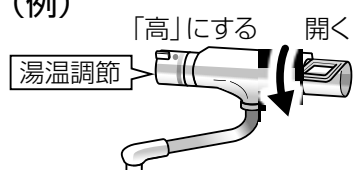
- 6** 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「入」にする
- 電源扉を閉じ、
ねじを確実に締めます。

- 7** リモコンの日時を合わせる
- 使いかたガイド 18ページの
手順で合わせてください。

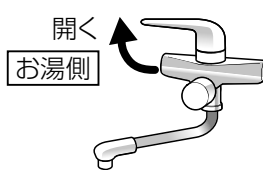
⑤

混合水栓のお湯側の開きかた (例)

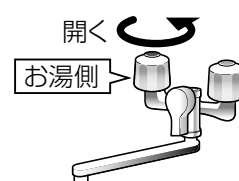
お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



- **サーモスタットタイプ**
湯温調節を「高」にして開く。



- **シングルレバータイプ**
お湯側にレバーを回して開く。



- **2ハンドルタイプ**
お湯側だけを開く。

貯湯ユニットのお手入れ

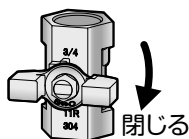
お願い!!

貯湯ユニットに脚部カバーを取り付けている場合は、はすしてください。
下記の操作は、8～9ページの『各部の名前とはたらき』を参照して行ってください。

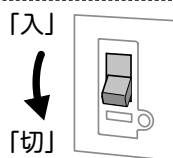
給水口ストレーナーの掃除 (必要に応じて)

お湯の出が悪くなったら、
貯湯ユニットのストレーナーの掃除を行ってください。

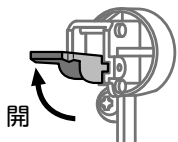
1 給水止水栓を閉じる



2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を
「切」にする

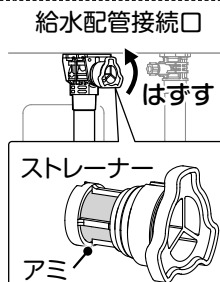


3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ



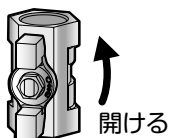
4 貯湯ユニットの
ストレーナーをはすし、
アミを掃除する

- ① ストレーナーをはすす
容器などで水を受けてください
- ② 水を流しながらブラシな
どでアミをよく洗う。

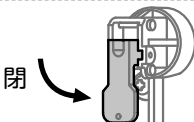


5 ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

6 給水止水栓を開き、
ストレーナー部などから
水漏れがないかを確認する



7 逃し弁レバーを戻す



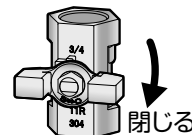
8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉・逃し弁扉を確実に閉じ、
ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

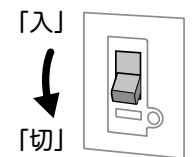
タンク内の掃除 (年に2～3回)

- いつもきれいなお湯が使えるように、
タンクの底に沈殿した水あかななどを排水させます。
- タンク内の掃除は残湯量が3目盛り以下、または
一度湯はりをした後に行ってください。
(熱いお湯で排水口を傷める場合があります)

1 給水止水栓を閉じる



2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を
「切」にする



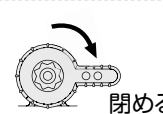
3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ



4 排水栓扉を開け、
排水栓を開く
(左へ回す)

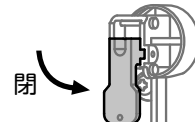


5 水がきれいになったら
(約2分が目安)
排水栓を閉じる (戻す)



6 排水が止まったら、給水止水栓を開き、
排水トラップにお湯が出てくるのを確認する
(見えないときは音で確認)

7 お湯が出てきたらすぐに、
逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉・逃し弁扉を確実に閉じ、
ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
お湯が飛び散る場合があります。ご注意ください。

点検する

事故を防ぐために、以下の点検を必ず行ってください。

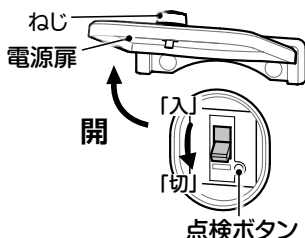
漏電しゃ断器の動作確認（年に2～3回）

漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

年に2～3回、漏電しゃ断器の動作確認をしてください。

1 電源扉を開け、点検ボタンを押す

漏電しゃ断器が「切」になれば正常です。



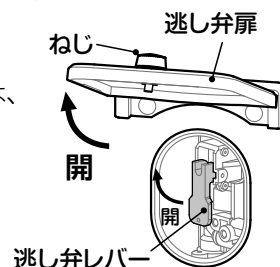
2 必ず漏電しゃ断器を「入」に戻し、電源扉を閉じ、ねじを確実に締める

水漏れの点検（日常）

貯湯ユニットの設置場所に水漏れがないか確認してください。特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。

逃し弁の動作確認（年に2～3回）

- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。正常に動作しないとタンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。
- 年に2～3回は、逃し弁レバーを上げて、動作を確認してください。動作確認は、沸き上げ（沸き増し）をしていないときに行ってください。
- レバーを上げると排水し、戻すと排水が止まれば正常です。止まらない場合は、販売店または工事店に修理を依頼してください。



- 確認のために脚立などを使うときは、転倒しないように十分に気をつけてください。

凍結防止の確認（冬が近づいたら）

冬が近づいてきたら、早めに、凍結防止ヒーターの電源を入れることをおすすめします。

➡ 32 ページ

定期点検（有料）

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。

点検費用については、販売店または工事店にご相談ください。

定期点検で見つかった不都合な部品は、保証期間中は無料で取り替えます。

（消耗部品の保証期間は2年間です。）

定期点検の主な内容

- 据付状態の点検 貯湯ユニット設置面（アンカーボルトの取り付け状態など）、配管状態（断熱処理など）、電気配線・アースの確認など、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認。
- 部品の点検 貯湯ユニットの弁類（減圧弁・逃し弁・ミキシングバルブなど）、電気部品（制御基板など）、ポンプ、逆流防止装置、ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検。
- 掃除 タンク内の掃除、貯湯ユニットのストレーナーの掃除。

消耗部品・劣化しやすい部品

※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 逃し弁
- ミキシングバルブ
- 電磁弁（簡易ホッパー）
- ポンプ
- 二方弁
- 三方弁
- 水位センサー
- 銀イオン発生ユニット

5年保証に関する免責事項

※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

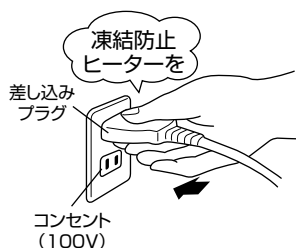
➡ 59 ページ に5年保証に関する免責事項が記載しております。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

冬が来る前に（凍結を防止する）

凍結して配管などが破損するおそれがある場合は、下記の対応が必要です。

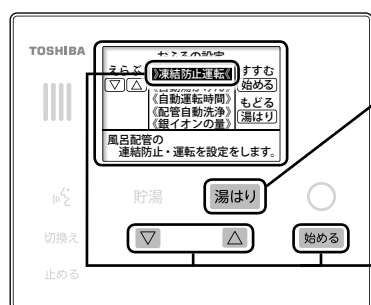
給水・給湯・浴槽・ヒートポンプ配管

- 外気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがあります。凍結防止ヒーターによる工事説明書どおりの保温工事を行ってあることを確認してください。
- 水が凍る時期には、すべての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配がない時期になったら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 製品に凍結防止ヒーターを追加施工された場合は、その凍結防止ヒーターにも通電してください。（コンセントやスイッチの場合があります）
- 寒さが本格的になる前に、凍結防止ヒーターの電源を入れてください。



風呂配管凍結防止運転を止めるには

台所



1

湯はり に3秒間タッチ

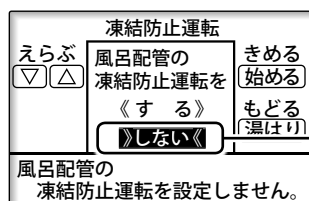
【お風呂の設定】画面が表示されます。

2

▽ ▲ で【凍結防止運転】を選択し、
始める にタッチ

3

▽ ▲ で【しない】を選択し、
始める にタッチ



冬が来る前に（凍結を防止する）

ときには



ファンやポンプが運転しているとき

- ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。
- 厳寒期以外でも、外気温によっては循環ポンプが運転することがあります。



お願い!!

機器の電源は「入」のままにしてください。
通電していないと凍結防止のための運転が
できません。



浴槽配管（風呂配管の凍結防止運転）

- 外気温が下がると、浴槽に残ったお湯を循環させて、凍結を防ぎます。
 - 浴槽のお湯は必ず浴槽循環金具より5cm以上残してください。お湯がないと、お湯を循環できません。
 - 浴槽にお湯を残していない場合でも、外気温が下がるとポンプが運転し、浴槽循環金具からお湯や水が出ることがありますが、異常ではありません。
- ※ 浴槽配管に凍結防止ヒーター工事をした場合は、浴槽にお湯を残す必要はありません。
リモコンで、32 ページの「風呂配管凍結防止運転を止めるには」を設定してください。

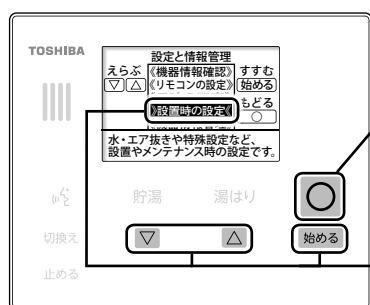
ヒートポンプユニット

- 外気温が下がると、ヒートポンプ配管の水を自動で循環し凍結を防ぎます。
- さらに外気温が下がると、ヒートポンプユニットを運転して、ヒートポンプ配管の凍結を自動で防ぎます。

雪害対応設定について

粉雪などによるヒートポンプユニットの不動作を防止するため、外気温によりファンを回す設定です。

台 所



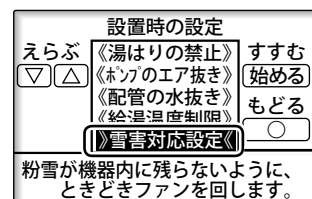
1

○ に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

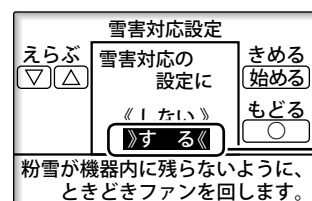
2

▽ △ で【設置時の設定】を選択し、
始める にタッチ



3

▽ △ で【雪害対応設定】を選択し、
始める にタッチ



4

▽ △ で【する】を選択し、
始める にタッチ

冬が来る前に（凍結を防止する）

こんな
ときには

※ 工事説明書「粉雪対応の設定」（31ページ）のスイッチ設定をした場合、この項目は表示されません。（560Lタイプは除く）

停電のとき

停電した時間が2時間以内のとき

停電中は…

- タンクに貯めたお湯は、停電前の設定温度で混合水栓から給湯できますが、温度調節ができないため、必ず湯温を確かめてからご使用ください。
- マンションなどの貯水槽から水が供給されている場合は、停電中はお湯を使用できません。

停電から復帰したときは…

- 停電から復帰したときは、台所リモコンの時計が表示されていることを確認してください。下記の画面が表示されているときは、日付と時刻を設定してください。

➡  『使いかたガイド』18ページ

！機器に日時の情報がありません
「始める」にタッチして、
正しく合わせてください。

合わせていただいた日時を基に、
主に夜時間でお湯を貯めますが、
使用量が多く、貯湯量がへると、
昼も自動で沸かす運転をします。

長時間の停電が予想されるとき

冬期で凍結のおそれがあるときは…

- 停電中は凍結防止運転ができません。
凍結による破損を防ぐため、タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。
『長期間使わないとき』にしたがって、
タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。

➡  38～41 ページ

非常用水を取り出すときは…

- 停電および断水のときは、
タンク内のお湯（または水）を生活用水としてご利用できます。
- 非常用水を取り出すときは、
『非常時にタンクの水を取り出すとき』にしたがって操作してください。

➡  36～37 ページ

非常用水を使った後は…

- 断水から復帰したときは、
『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって
タンクに水を貯めなおしてください。

➡  28～29 ページ

断水や水道工事のとき

予定された断水や水道工事の前には、汚れた水がタンク内に入るのを防ぐために給水止水栓の開け閉めが必要です。

貯湯ユニット

1 断水が始まる前に、 給水止水栓を閉める

工事などにより汚れた水が、
タンクに入るのを防ぐためです。

2 断水が終了したら、 混合水栓の水側だけを開ける

汚れた水が出なくなるまで
水を出し続けます。

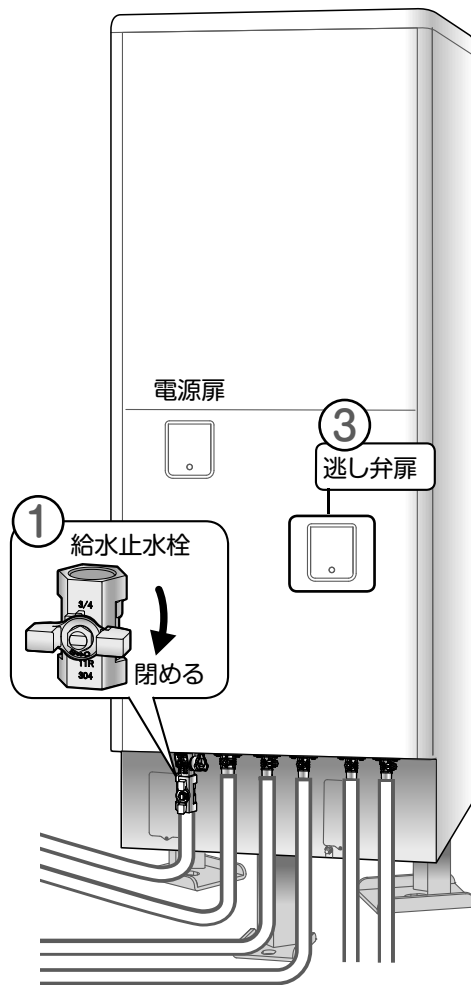
3 給水止水栓を開け、 逃し弁を開けて お湯が出ることを確認する

『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を
参考に行ってください。

→ 28～29 ページ

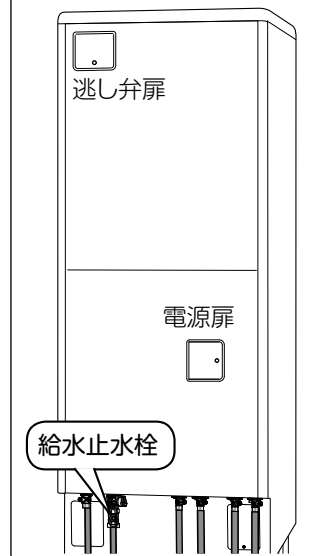
4 混合水栓のお湯側を ゆっくり開き、 お湯が出ることを確認する

配管に空気が入り込み、
お湯が飛び散る場合がありますので、
ご注意ください。



560Lタイプ

※電源扉と逃し弁・
給水止水栓の位置が
異なります。



断水や水道工事のとき

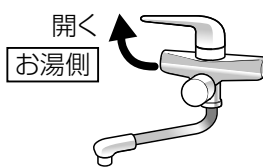
こんな
ときには

④ 混合水栓のお湯側の開きかた (例)

お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



■ サーマスタットタイプ
湯温調節を「高」にして開く。



■ シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く。



■ 2ハンドルタイプ
お湯側だけを開く。

非常時にタンクの水を取り出すとき

万一の災害による断水時に、タンク内のお湯（水）を生活用水としてご利用できます。

貯湯ユニット

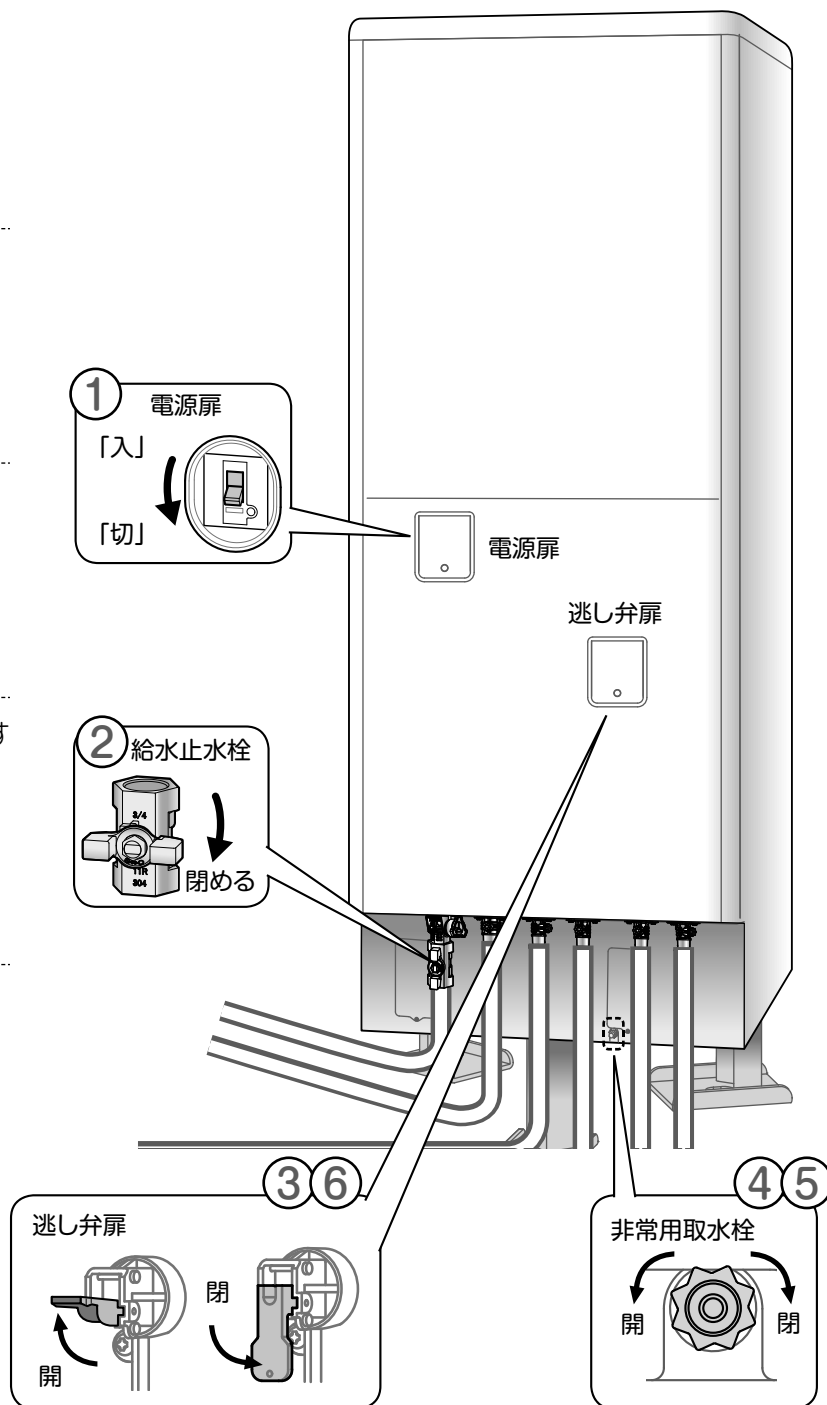
- 1 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

- 2 給水止水栓を閉める

- 3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げて、
逃し弁を開ける

- 4 非常用取水栓を開き、お湯(水)を出す
(560Lタイプは次ページ参照)

開いてすぐは汚れた水が出ます。
きれいになってからお使いください。
熱に強い容器で受けてください。



非常時にタンクの水を取り出すとき

こんな
ときには



再び使用するときは…

『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって、給水してください。 → 28～29 ページ



お願い!!

熱いお湯が出るため、十分に注意して取り出してください。

使用後は…

5 非常用取水栓を閉める
(560Lタイプは下図参照)

6 逃し弁レバーを戻し、
逃し弁を閉める

7 1・3で開けた、
電源扉と逃し弁扉を閉め、
確実にねじを締める

560Lタイプ

※電源扉と逃し弁扉・配管接続口の
位置が異なります。



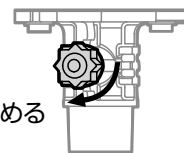
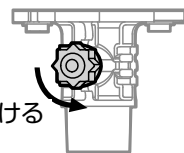
逃し弁扉



電源扉

④ ⑤

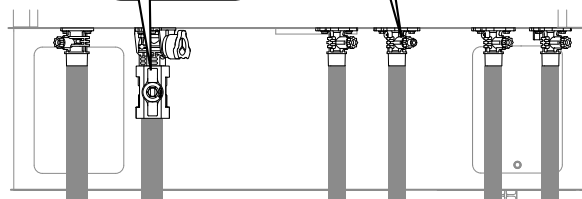
ヒートポンプ配管行き水抜き栓
(非常用取水栓兼用)



開ける

閉める

給水止水栓



非常時にタンクの水を取り出すとき

こんな
ときには

長期間使わないとき (タンクの排水・配管の水抜き)

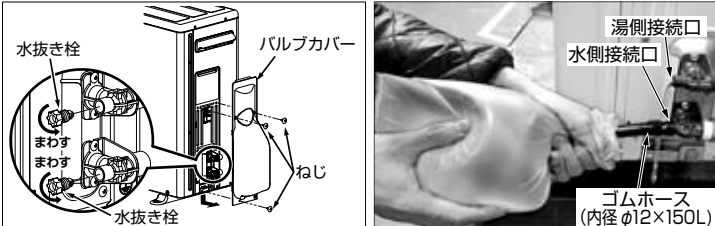
長期間(1ヵ月以上)使わないときや貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にするときは、
下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きをしてください。
(タンク内のお湯(水)を抜かないと、凍結により部品が破損したり、水質が変化したりします。)

貯湯ユニット

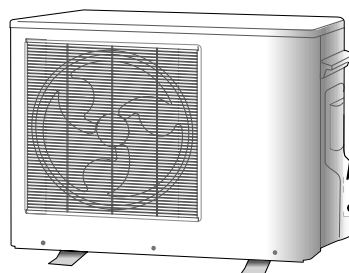
- 1 浴槽の残り湯を排水する
- 2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする
- 3 給水止水栓を閉める
- 4 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げて、
逃し弁を開ける
- 5 排水栓扉を開け、
排水栓レバーを開けたあと、
貯湯ユニットのヒートポンプ戻り
水抜き栓を開ける
 - 約40～70分でタンク内の水が抜けます。
 - 見えないときは、水の音で確認してください。
 - 熱湯が出るので注意してください。
 - ヒートポンプ戻り水抜き栓より
少量の水が出ますので容器などで
受けてください。
- 6 貯湯ユニットの水抜き栓6カ所を
5分以上開けてから
ヒートポンプユニットの水抜きをする
 - 容器などで水を受けてください。
 - 水や熱湯が勢いよく出ることがあります。
ご注意ください。
 - 設置状況によっては、水が抜けるまでに
時間がかかる場合があります。
水抜き栓はいっぱいまで開けてください。
- 7 点検扉を開け、水抜き用弁棒を
指で押し上げる
 - 水が出なくなるまで
弁棒を押し上げてください。

⑥ ヒートポンプユニットの水抜き方法

- ① バルブカバーをはずし、接続口の水抜き栓(2カ所)をはずします。
- ② 水側接続口に、貯湯ユニット付属品に同梱のゴムホースを取り付けます。
- ③ A4サイズ(容量約1リットル)くらいのビニール袋に空気を入れ、写真のように手で根元を押さえて空気を押し込み、配管内の残水を排水します。
・ 湯側接続口から水が出なくなるまで排水します。
(約500～600CC排水されます)
※ビニール袋は現地で調達してください。
※市販の空気入れなど、空気を押し込むことのできる道具でも代用可能です。
- ④ 接続口の水抜き栓(2カ所)を元どおりに取り付けて作業完了です。



ヒートポンプユニット



バルブカバー

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

こんな
ときには

<370L,460Lタイプ>

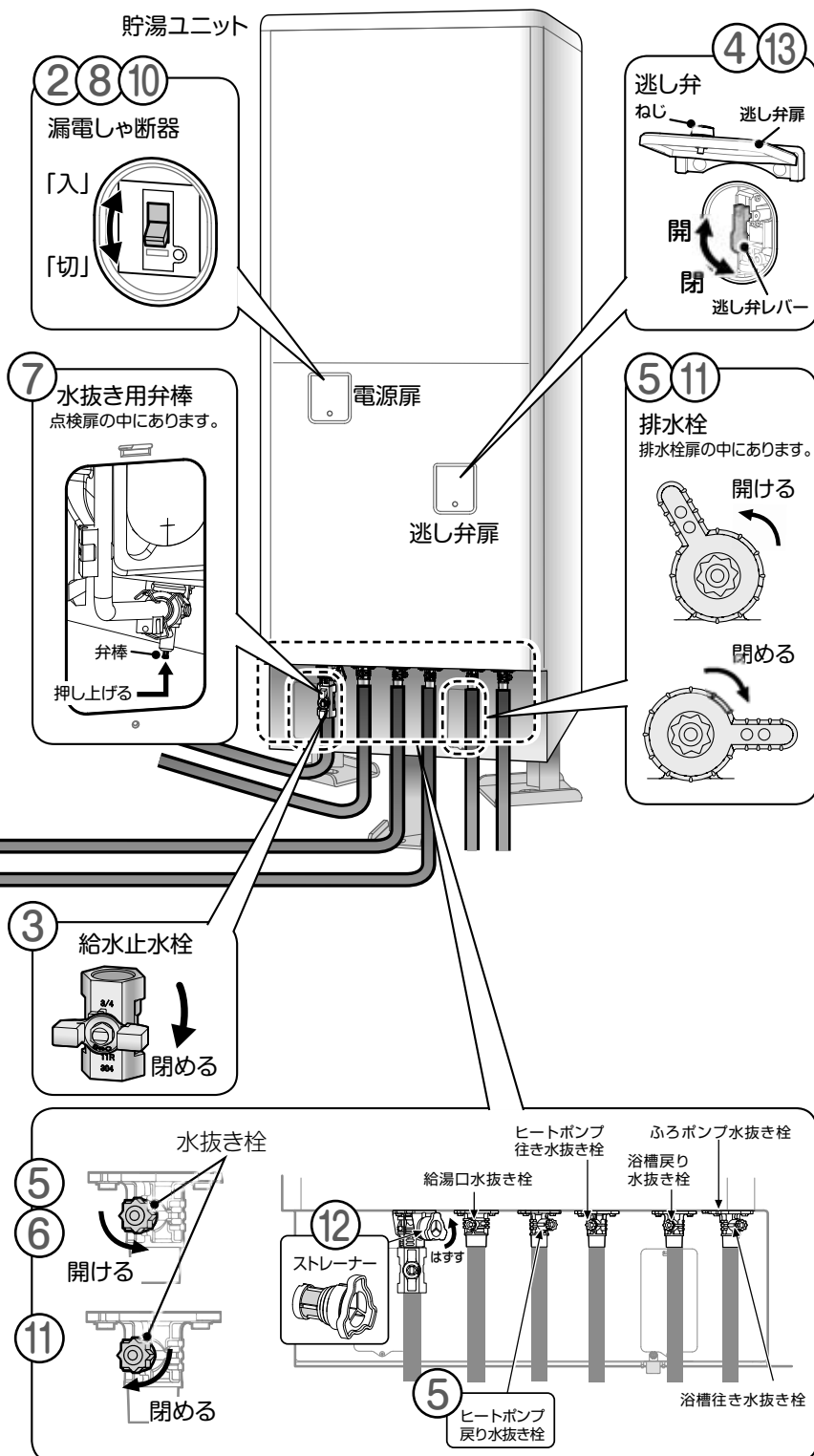
排水管が熱で変形しないように、
タンク内のお湯を使いきり、
水になってから排水してください。

再び使用するときは、
『貯湯ユニットへの水の貯めかた』に
したがって、給水をしてください。

➔ 28~29 ページ

※凍結のおそれがある時期は再給水でき
ない場合があります。しばらく時間が
経過しても再給水できない場合は、
東芝電気給湯機ご相談センターに
ご相談ください。

お願い!!



8 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「入」にする

9 台所リモコンで
水抜き動作を設定する

□ 3秒間タッチ▶
【設定と情報管理】▶
【設置時の設定】▶
【配管の水抜き】を【する】▶
【始める】にタッチして
約1分間待ちます。

➔ 44 ページ

10 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

11 水抜きが終わったら、
排水栓レバー、貯湯ユニットの
水抜き栓6カ所を閉める

12 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
水が出なくなったら、
ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

13 逃し弁レバーを戻し、
逃し弁を閉める

14 2・4・5・7で開けた、
貯湯ユニットの電源扉・
逃し弁扉・排水栓扉・点検扉を
閉めて確実にねじを締める

長期間使わないとき
(タンクの水抜き・配管の水抜き)

こんな
ときには

長期間使わないとき (タンクの排水・配管の水抜き)

長期間(1ヵ月以上)使わないときや貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にするときは、下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きをしてください。
(タンク内のお湯(水)を抜かないと、凍結により部品が破損したり、水質が変化したりします。)

貯湯ユニット

- 1 浴槽の残り湯を排水し、
台所リモコンで
水抜き動作を設定する

○ 3秒間タッチ▶

【設定と情報管理】▶

【設置時の設定】▶

【配管の水抜き】を【する】▶

【始める】にタッチして
約10秒間待ちます。

➡ 44 ページ

- 2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

- 3 給水止水栓を閉める

- 4 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げて、
逃し弁を開ける

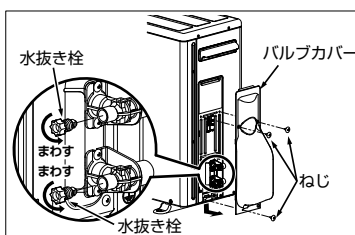
- 5 排水栓扉を開け、
排水栓レバーを開ける

- 約40～70分で
タンク内の水が抜けます。
- 見えないときは、
水の音で確認してください。
- 熱湯が出るので注意してください。

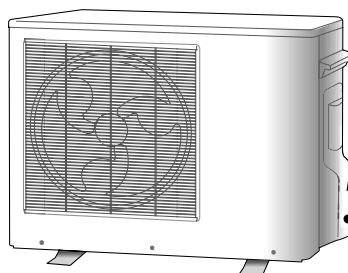
6

ヒートポンプユニットの水抜き方法

- ① バルブカバーをはずし、接続口の水抜き栓(2カ所)をはずします。
- ② 水側接続口に、貯湯ユニット付属品に同梱のゴムホースを取り付けます。
- ③ A4サイズ(容量約1リットル)くらいのビニール袋に空気を入れ、写真のように手で根元を押さえて空気を押し込み、配管内の残水を排水します。
・ 湯側接続口から水が出なくなるまで排水します。
(約500～600CC排水されます)
※ビニール袋は現地で調達してください。
※市販の空気入れなど、空気を押し込むことのできる道具でも代用可能です。
- ④ 接続口の水抜き栓(2カ所)を元どおりに取り付けて作業完了です。



ヒートポンプユニット



バルブカバー

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

こんな
ときには

お願い!!

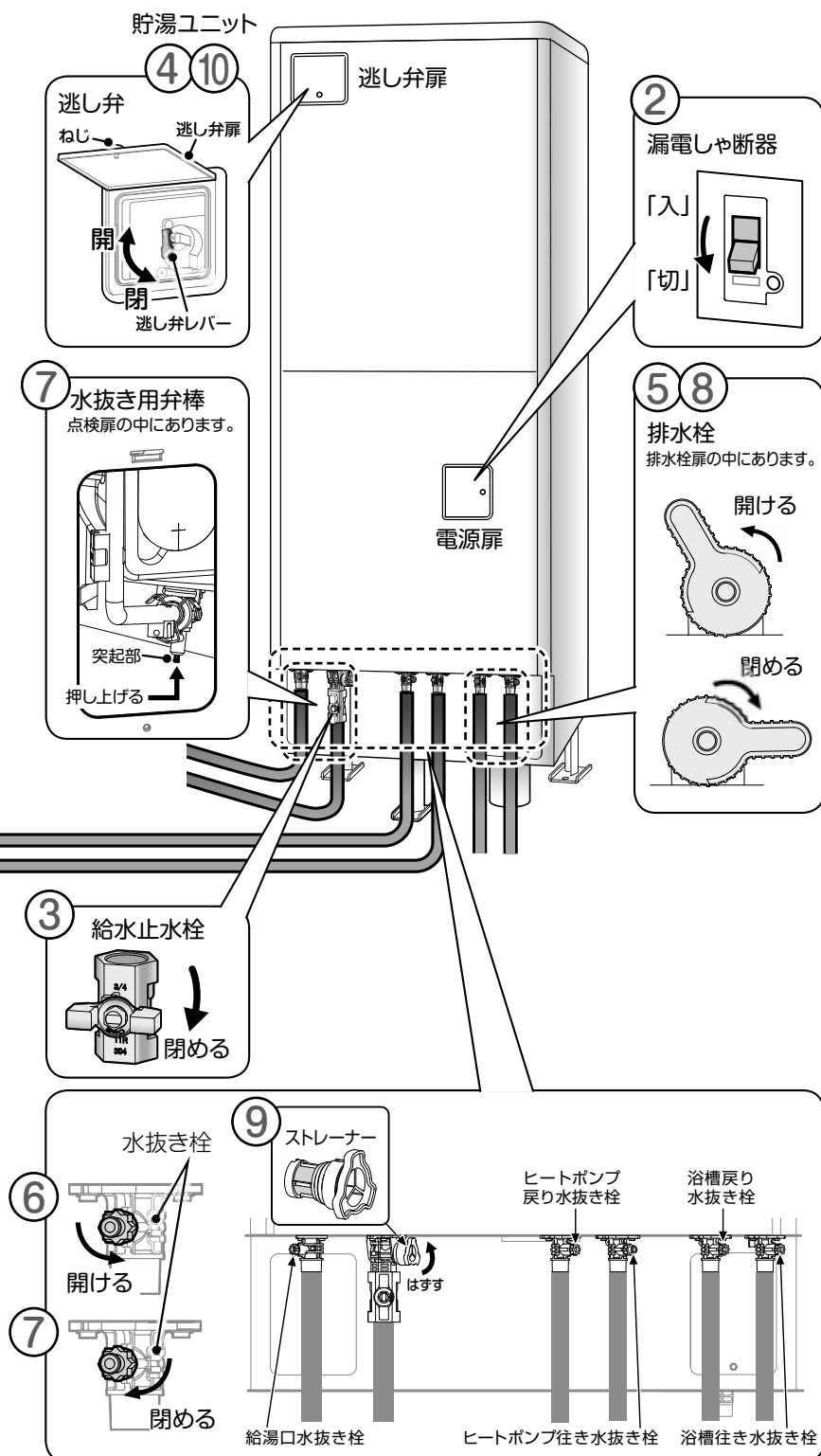
<560Lタイプ>

排水管が熱で変形しないように、
タンク内のお湯を使いきり、
水になってから排水してください。

再び使用するときは、『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって、給水をしてください。

→ 28~29 ページ

※凍結のおそれがある時期は再給水できない場合があります。しばらく時間が経過しても再給水できない場合は、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。



6 貯湯ユニットの水抜き栓
6カ所を5分以上開けてから
ヒートポンプユニットの
水抜きをする

- 容器などで水を受けてください。
- 水や熱湯が勢よく出ることがあります。ご注意ください。
- 設置状況によっては、水が抜けるまでに時間がかかる場合があります。水抜き栓はいっぱいまで開けてください。

7 点検扉を開け、水抜き用弁棒を
指で押し上げる

- 水が出なくなるまで
弁棒を押し上げてください。

8 水抜きが終わったら、
排水栓レバー、貯湯ユニットの
水抜き栓6カ所を閉める

9 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
水が出なくなったら、
ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

10 逃し弁レバーを戻し、
逃し弁を閉める

11 2・4・5・7で開けた、
貯湯ユニットの電源扉・
逃し弁扉・排水栓扉・点検扉を
閉めて確実にねじを締める

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

こんな
ときには

家族構成が変わったとき



家族構成が変わって、急にお湯の使用量が増える（湯切れになる）ときに学習データをリセットして再学習をさせます。

操作の流れ

○に3秒間
タッチ

▽△で
【機器情報管理】を
選択して 始める にタッチ

▽△で
【学習の初期化】を
選択して 始める にタッチ

▽△で【する】または
【しない】を選択して
始める に3秒間タッチ

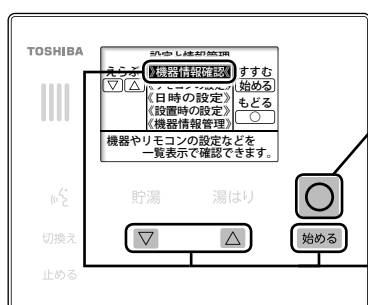
再学習

ワンポイント!



表示が消えている
ときは○にタッチ

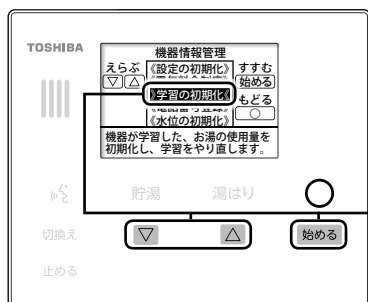
台所



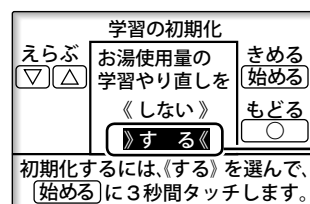
1 ○に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽△で【機器情報管理】を
選択し、 始める にタッチ



3 ▽△で【学習の初期化】を
選択し、 始める にタッチ



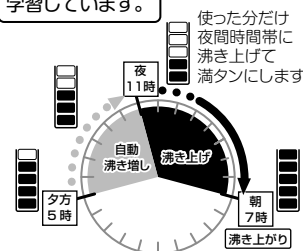
4 ▽で【する】を選択し、
 始める に3秒間タッチ

初期化するには、《する》を選んで、
 始める に3秒間タッチします。

再学習中(約1週間)

最初の1週間は、夜間時間帯に
全量沸き上げます。

お湯の使いかたを
学習しています。

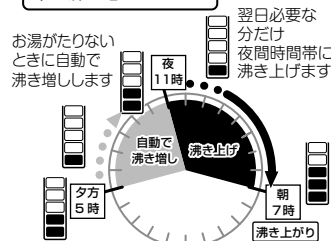


1週間後

通常時

夜間時間帯に沸き上げる温度と量をお湯の使いかたから決めています。
(毎日学習を続けています)

必要に応じて昼間時間帯も沸き増しします。



家族構成が変わったとき

こんにちは



お知らせ

再学習期間中は…

- 再学習には1週間必要です。1週間は最適な湯量を学習するため、朝に全量になるように沸き上げます。
学習すると使用状況に合ったお湯の量を沸き上げます。
- 再学習中は、昼間時間帯の自動沸き増し運転が通常時よりも増えます。

連続してお湯を使わないとき

通常時でも、1週間の間にお湯をまったく使用しない日が6日間あると自動的に再学習を行います。



電力契約を変えたとき

電力契約を変えたときは、電力契約モードを再設定します。

操作の流れ

○に3秒間
タッチ

▽△で【機器情報管理】を
選択して 始める にタッチ

▽△で【電気料金制度】を
選択して 始める にタッチ

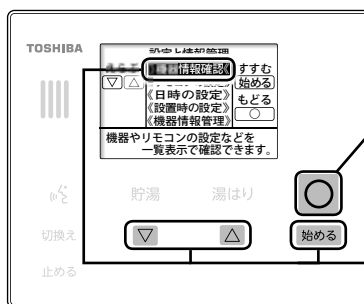
電力契約を変更

ワンポイント!



表示が消えている
ときは□にタッチ

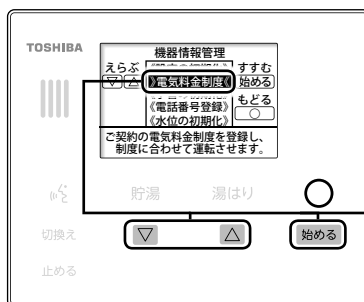
台所



1 ○に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2 ▽△で【機器情報管理】を選択し、
始める にタッチ

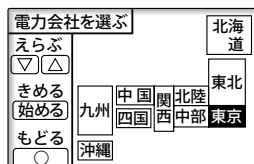


3 ▽△で【電気料金制度】を選択し、
始める にタッチ

以下の項目を順番に設定します。

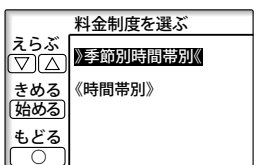
1. 電力会社を選ぶ

契約している
電力会社を
選択します。



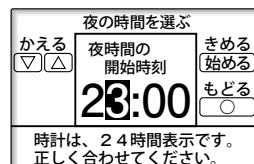
2. 料金制度を選ぶ

料金制度を
選択します。
表示される内容は、
電力会社ごとに
異なります。



3. 夜の時間 (開始時刻) を選ぶ

夜時間の開始と
終了の時刻を
指定します。



4. 夜の時間 (終了時刻) を選ぶ

設定された時間内で
夜間の沸き上げ運転を
行います。
開始と終了の時刻が
正しく設定されていない
と電気料金が高くなる
ことがあります。
必ず正しく設定されて
いることを確認して
ください。



▽△で
項目または
数値を指定し、
始める にタッチして
決定します。

1つ前の画面に
戻るには…

○にタッチ

通常画面
に戻るには…

○に3秒間タッチ

電力契約を変えたとき

こんな
ときには

電力契約について

● 料金制度や開始/終了時刻については、工事説明書「電気料金プラン一覧」(35ページ)を参照し、設定してください。

● 契約している料金制度の詳細については、各電力会社にお問い合わせください。

水やエアを抜くとき



メンテナンス時に、配管の水抜きやポンプのエア抜きの設定をします。

操作の流れ

○に3秒間
タッチ

▽△で【設置時の設定】を
選択して 始める にタッチ

▽△で項目を
選択して 始める にタッチ

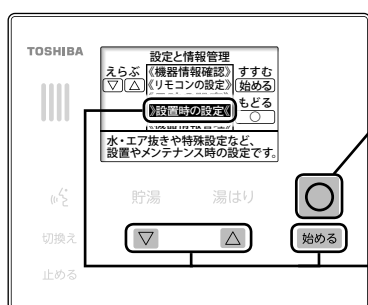
ポンプのエア抜き

配管の水抜き

ワンポイント!

表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



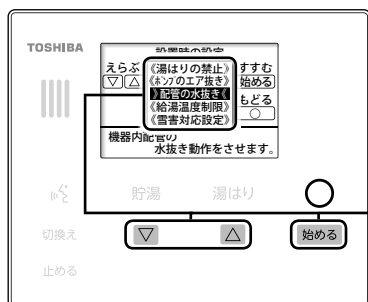
1

○に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

2

▽△で【設置時の設定】を選択し、
始める にタッチ



3

▽△で下記のいずれかを選択し、
始める にタッチ

水やエアを抜くとき

こんな
ときには

配管の水抜き えらぶ 配管の水抜きを きめる ▽△ 《しない》 始める 《する》 もどる ○ 機器内配管の水抜き動作をさせます。	配管の水抜き 長期間使わないときに、配管の水抜きをします。
ポンプのエア抜き えらぶ ポンプのエア抜きを きめる ▽△ 《しない》 始める 《する》 もどる ○ 沸き上げポンプのエア抜き動作をさせます。	ポンプのエア抜き ヒートポンプ配管のエア抜きをします。

▽△で【しない】または【する】のいずれかを指定し、
始める にタッチして決定します。

手順3の画面に戻るには…

○にタッチ

通常画面に戻るには…

○に3秒間タッチ



給湯や湯はりを制限したいとき

湯はりや給湯温度の変更を制限したいときに設定します。

操作の流れ



に3秒間
タッチ



で【設置時の設定】を
選択して 始める にタッチ



で項目を
選択して 始める にタッチ

湯はりの禁止

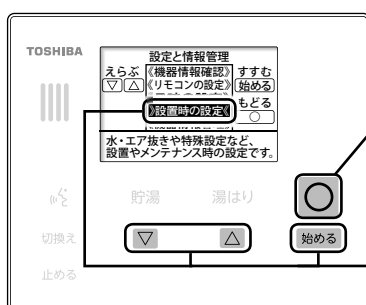
給湯温度制限

ワンポイント!



表示が消えている
ときは○にタッチ

台所



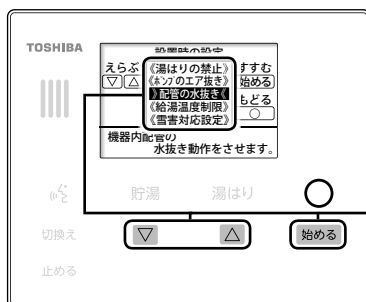
1

○に3秒間タッチ

【設定と情報管理】画面が表示されます。

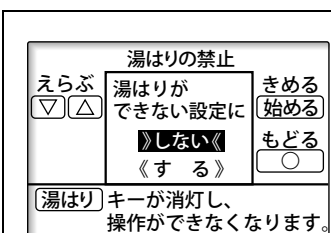
2

▽△で【設置時の設定】を選択し、
始める にタッチ



3

▽△で下記のいずれかを選択し、
始める にタッチ



湯はりの禁止

湯はりを制限します。

湯はり キーが消灯したままになり、操作できなくなります。

▽△で【しない】または
【する】のいずれかを指定し、
始める にタッチして
決定します。

手順3の画面に戻るには…

○にタッチ



給湯温度制限

給湯温度の上限を48℃に制限します。

お子様やお年寄りの安全を配慮した設定です。

通常画面に戻るには…

○を3秒間タッチ

※製品自身で設定されている場合、この項目は表示されません。

給湯や湯はりを制限したいとき

こんな
ときには

製品仕様

■システム・ユニット形名対照表

- 耐塩害仕様は各形名の末尾に「-Z」、耐重塩害仕様は各形名の末尾に「-GZ」が付きます。
貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの質量は下表と同じです。

システム形名	一般地向け					
	フルオートパワフル給湯		フルオート			
システム形名	HWH-B374H	HWH-B464H	HWH-B374	HWH-B464	HWH-B564	HWH-B374M
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HA	HWH-B464HA	HWH-B374A	HWH-B464A	—	—
貯湯ユニット形名	HWH-B374HT	HWH-B464HT	HWH-B374T	HWH-B464T	HWH-B564T	HWH-B374MT
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HAT	HWH-B464HAT	HWH-B374AT	HWH-B464AT	—	—
ヒートポンプユニット形名	HWH-454U	HWH-604U	HWH-454U	HWH-604U	HWH-734U	HWH-454U

■仕様表

システム形名	一般地向け					
貯湯ユニット+ヒートポンプユニット	HWH-B374H	HWH-B464H	HWH-B374	HWH-B464	HWH-B564	HWH-B374M
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HA	HWH-B464HA	HWH-B374A	HWH-B464A	—	—
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型（通電制御割引対象品）					
電源定格	単相200V（50/60Hz共用）					
最大電流	17A	18A	17A	18A	19A	17A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）					
年間給湯保温効率(JIS)※1※2	3.3				3.0	3.3
区分名	17				25	17
仕向地	次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けはできません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けしないでください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸き上げ温度は変化します。					
用途	セントラル給湯・ふる全自動					
	2～5人家族用	4～7人家族用	2～5人家族用	4～7人家族用	5～8人家族用	2～5人家族用

貯湯ユニット形名		HWH-B374HT	HWH-B464HT	HWH-B374T	HWH-B464T	HWH-B564T	HWH-B374MT
銀イオン発生機能付き		HWH-B374HAT	HWH-B464HAT	HWH-B374AT	HWH-B464AT	—	—
アンミニニニ							

ヒートポンプユニット形名	HWH-454U	HWH-604U	HWH-454U	HWH-604U	HWH-734U	HWH-454U
外形寸法	幅 奥行 高さ	820mm 320mm 712mm				
質量	約53kg	約54kg	約53kg	約54kg	約59kg	約53kg
中間期標準加熱能力 ※4 ※5	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW	7.3kW	4.5kW
中間期標準消費電力 ※5	0.96kW	1.32kW	0.96kW	1.32kW	1.66kW	0.96kW
中間期標準運転電流 ※5	6.3A	8.5A	6.3A	8.5A	10.1A	6.3A
夏期加熱能力/消費電力 ※4 ※6	4.5kW/0.88kW				4.5kW/0.92kW	4.5kW/0.88kW
冬期高温加熱能力 ※3 ※4 ※7	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW	7.3kW	4.5kW
冬期高温消費電力 ※7	1.50kW	2.00kW	1.50kW	2.00kW	2.40kW	1.50kW
運転音（中間期 ※5 / 冬期 ※7）※8	38/44dB	42/46dB	38/44dB	42/46dB	44/47dB	38/44dB
冷媒名/封入量	CO ₂ （R744）/0.80kg				CO ₂ （R744）/1.21kg	CO ₂ （R744）/0.80kg
設計圧力	高圧：14.5MPa / 低圧：9.0MPa					
設置可能最低外気温 ※10	-10℃					

※1 年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220：2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用し、ふろの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。

※年間給湯保温効率算出時の条件

着霜期高温条件

：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃

給湯保温モード条件（冬期）

：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃

給湯保温モード条件（着霜期）

：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、

沸き上げ温度65℃（370Lタイプは70℃）

夜間消費電力量比率：80%

※2 沸き上げモード：「おまかせ」設定

※3 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃

※6 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃

※7 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃

※8 運転音は、JIS C9220：2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

※9 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。台所リモコンと浴室リモコンを2個接続した状態で測定しています。

※10 運転使用範囲は-10℃～43℃です。外気温が-5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80℃～85℃となります。

※11 HWH-B374MT機種は、給水遮断弁と漏水センサを内蔵し、万一の水漏れの時に給水をストップします。

※仕様は改善のため変更することがあります。

■システム・ユニット形名対照表

●耐塩害仕様は各形名の末尾に「-Z」、耐重塩害仕様は各形名の末尾に「-GZ」が付きます。
貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの質量は下表と同じです。

システム形名	寒冷地向け			
	フルオートパワフル給湯		フルオート	
システム形名	HWH-B374HN	HWH-B464HN	HWH-B374N	HWH-B464N
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HAN	HWH-B464HAN	—	—
貯湯ユニット形名	HWH-B374HTN	HWH-B464HTN	HWH-B374TN	HWH-B464TN
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HATN	HWH-B464HATN	—	—
ヒートポンプユニット形名	HWH-454UN	HWH-604UN	HWH-454UN	HWH-604UN

■仕様表

システム形名	寒冷地向け			
	HWH-B374HN	HWH-B464HN	HWH-B374N	HWH-B464N
貯湯ユニット+ヒートポンプユニット	HWH-B374HAN	HWH-B464HAN	—	—
銀イオン発生機能付き	HWH-B374HAN	HWH-B464HAN	—	—
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型（通電制御引込対象品）			
電源定格	単相200V（50/60Hz共用）			
最大電流	17A	18A	17A	18A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）			
年間給湯保温効率（JIS）※1 ※3	3.3			
寒冷地年間給湯保温効率（JIS）※2 ※3	2.8			
区分名	21			
仕向地	次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域 ●最低外気温がマイナス25℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●最低外気温がマイナス15℃を下回る地域では貯湯ユニットは屋内に設置してください。 ●お湯の使用状態や外気温、自動保温運転などによって沸き上げ温度は変化します。			
用途	セントラル給湯・ふる全自動			
	2～5人家族用	4～7人家族用	2～5人家族用	4～7人家族用

貯湯ユニット形名		HWH-B374HTN	HWH-B464HTN	HWH-B374TN	HWH-B464TN
銀イオン発生機能付き		HWH-B374HATN	HWH-B464HATN	—	—
タンク容量		370L	460L	370L	460L
設置条件		屋外設置			
設置可能最低外気温度		-15℃			
外形寸法	幅	630mm	630mm	630mm	630mm
	奥行	730mm	730mm	730mm	730mm
	高さ	1760mm	2094mm	1760mm	2094mm
質量（満水時）		約56（426） kg	約65（525） kg	約56（426） kg	約65（525） kg
消費電力	風呂用ポンプ	65W			
	追いだし用ポンプ	40W			
	沸き上げ用ポンプ	40W			
	凍結防止ヒーター	60W			
	制御用消費電力	15W（待機時：5W ※11）			
	水側最高使用圧力	340kPa（減圧弁設定圧力：300kPa）	190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）		
配管口径		給水・給湯：R3/4 浴室・ヒートポンプ接続：R1/2			
排水口		排水：R1/2			
給湯温度設定		27℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃			
浴槽の目安		120L～450L			
ふる給湯機能		自動湯はり・自動保温・自動たし湯・追いだし・高温たし湯・たし湯・さし水・洗浄			

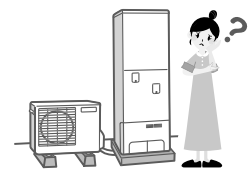
ヒートポンプユニット形名	HWH-454UN	HWH-604UN	HWH-454UN	HWH-604UN
外形寸法				
幅	820mm			
奥行	320mm			
高さ	712mm			
質量	約59kg			
中間期標準加熱能力 ※5 ※6	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW
中間期標準消費電力 ※6	0.96kW	1.32kW	0.96kW	1.32kW
中間期標準運転電流 ※6	6.3A	8.5A	6.3A	8.5A
夏期加熱能力/消費電力 ※5 ※7	4.5kW/0.88kW			
冬期高温加熱能力 ※4 ※5 ※8	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW
冬期高温消費電力 ※8	1.50kW	2.00kW	1.50kW	2.00kW
寒冷地冬期高温加熱能力 ※4 ※5 ※9	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW
運転音（中間期 ※6/冬期 ※8） ※10	38/44dB	42/46dB	38/44dB	42/46dB
冷媒名/封入量	CO ₂ （R744）/1.21kg			
設計圧力	高圧：14.5MPa/低圧：9.0MPa			
設置可能最低外気温 ※12	-25℃			
凍結防止ヒーター消費電力	55W			

※1 年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220:2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用し、ふるの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。
※年間給湯保温効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯保温モード条件（冬期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯保温モード条件（着霜期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃（370Lタイプは70℃）
夜間消費電力量比率：80%
※2 寒冷地年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220:2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量と風呂保温熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
※一定の条件とは、盛岡を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用し、ふるの保温時間を3時間（保温熱量4.12MJ）行う条件等を想定したものです。

※寒冷地年間給湯保温効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
寒冷地冬期高温条件
：外気温（乾球温度/湿球温度）-7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯保温モード条件（冬期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯保温モード条件（着霜期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃（370Lタイプは70℃）
夜間消費電力量比率：80%
沸き上げモード：「おまかせ」設定
※3 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※4 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下することがあります。
※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※8 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）-7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
※9 運転音は、「JIS C9220:2011」に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※10 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。台所リモコンと浴室リモコンを2個接続した状態で測定しています。
※11 運転使用範囲は-25℃～43℃です。外気温が-5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80℃～85℃となります。外気温が-20℃～-25℃の場合の最高沸き上げ温度は約80℃となりますが、タンク全量を沸き上げできない場合があり昼間の沸き増しの割合が増えます。
※ 仕様は改善のため変更することがあります。

お問い合わせの前に

このようなときには	これを確認してください
お湯が出ない	● 給水止水栓が開いていることを確認してください ▶ 開けかたは、➡  28 ページをご覧ください。 ● 断水していませんか？（他の水栓から水は出ますか？） ▶ 断水の場合、➡  35 ページの処置後、終了するまでお待ちください。 ● 配管が凍結していませんか？ ▶ 凍結が解消するまでお待ちください。➡  32 ページ ● 停電していませんか？ ▶ マンションなどの貯水槽の水を利用している場合は停電が復旧するまでお待ちください。
お湯の出が悪い	● ガス（石油）給湯機に比べると、若干ですが、お湯の出が悪くなります。 （タンクに水を貯めるため、水圧を落とす調整をしています） ● 混合水栓のタイプによっては、水栓を全開にしてもお湯の出が悪くなる場合があります。 ▶ リモコンの給湯温度を60℃に設定し、混合水栓で水を多く混ぜてご使用ください。 ➡  『使いかたガイド』8～9 ページ ● 自動保温、たし湯中や他で使用している場合は、混合水栓やシャワーから出る湯量が少なくなる場合があります。 ● 貯湯ユニットのストレーナー（フィルター）にゴミが詰まっていますか？ （掃除をしていますか？） ▶ 『給水口ストレーナーの掃除』の順にしたがって、掃除を行ってください。➡  30 ページ ● 給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶ 開けかたは、➡  28 ページをご覧ください。 ● 給水圧が低くなっていますか？（200kPa以下） ▶ お近くの水道局にお問い合わせください。
お湯がぬるい （設定温度にならない） 混合水栓やシャワーの 温度が低い、水が出る	● リモコンの給湯温度表示は目安です。 ・配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。 ・タンク内の湯温が低い場合は、設定温度にならないことがあります。 ● 残湯量目盛りが点灯していますか？ ▶ お湯がない場合は水が出ます。お湯が沸くまでお待ちください。 ➡  『使いかたガイド』10ページ ● お湯の出始めは、配管に残っている水が出ます。 ▶ お湯が出るまで、少しお待ちください。 ● サーモスタット式混合水栓をご使用で、混合水栓の設定温度まで上がらない場合は、リモコンの給湯温度設定を混合水栓の温度より10℃以上高めに設定してください。 それでも上がらないときは、混合水栓メーカーにご相談ください。 ● 1ヵ所のみ湯温が低い場合は、混合水栓の故障の可能性があります。 販売店にご相談ください。
湯温が変動する （給湯中に、急に熱く なったり、ぬるく（水に） なったりする） 出湯量が変動する	● 次の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・給湯中に、「湯はり」・「湯かげん」を操作したり止めたりしたとき ・給湯中に、他の混合水栓やシャワーでお湯を出したり止めたりしたとき ・給湯中に、出湯量を調節したとき ・給湯を止めて、しばらくして再給湯したとき ・出湯量が極端に少ないとき ・水道の圧力が変動しているとき



このようなときには

これを確認してください

沸
き
上
げ

お湯が沸かない

- 貯湯ユニットの漏電しゃ断器が、「切」になっていませんか？
（台所リモコンの画面表示がすべて消えていませんか？）
▶ 『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を参照し、漏電しゃ断器を「入」にしてください。
→ 28～29 ページ
「入」にして、度々「切」になるようでしたら、販売店または工事店にご相談ください。
- リモコンの時計が正しく設定されていますか？
・時計が合っていない場合（--:--表示の場合）
▶ 『日付、時刻を合わせる』の手順で合わせてください。→ 『使いかたガイド』18ページ
- 「貯めない設定」をしていませんか？
▶ 『貯めない設定』の手順にしたがって、解除してください。→ 17 ページ

お湯がたりない
（『おまかせ』設定
のとき）

- いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか？
▶ 「おまかせ」設定で1週間以上、お湯のたりない日が続くようでしたら、
「おおめ」設定でお使いください。→ 14 ページ
- 前日の残り湯を追いだき（沸かしなおし）しませんでしたか？
▶ 「おおめ」設定でお使いください。→ 14 ページ

お湯がたりない
湯切れする

- 夜間時間帯にお湯を多く使ったり、お風呂に湯はりをしましたか？
▶ 夜間に沸かしたお湯を使用したために残湯量が減っています。
夜間のお湯の使用を控えていただくか、沸き増しを設定してください。
- いつもに比べてお湯の使用量が多くなかったですか？
▶ この製品は貯湯式ですので、一度に使える湯量に限度があります。
いつもより多く使う場合は、「沸き増し」を設定してください。
→ 『使いかたガイド』12～13 ページ
- 自動沸き増し禁止を設定していませんか？
▶ 「自動沸き増し」を禁止している場合はお湯がたりなくなる場合があります。
→ 16 ページ
- 手で沸き上げていますか？
▶ 「60分間」、「湯はり量」設定は、沸き増しが完了すると、設定が自動で解除されます。
必要に応じて設定してください。→ 『使いかたガイド』12ページ
▶ 「満タンに」設定は、夜間時間帯までは何度でも沸き増ししますが、夜間時間帯になると設定が
自動で解除されます。必要に応じて設定してください。→ 『使いかたガイド』12ページ
- 沸き上げていないときに、排水口からお湯が出ていませんか？
▶ 『逃し弁の動作確認』の手順にしたがって、逃し弁の動作を確認してください。
→ 31 ページ
※沸き上げている最中に膨張水が出るのは正常です。

昼間時間帯に
沸き上げをする

- 昼間時間帯（朝～夜）はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し（沸き上げ）します。
▶ 昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。→ 16 ページ
- ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。
→ 33 ページ

沸き上げを
止めたい

- 「貯めない設定」で「無期限で」に設定してください。→ 17 ページ

夜になっても
沸き上げをしない

- 夜間時間の終了時刻を目標に、沸き上げが終わるよう、水温・外気温・残湯量によって、
沸き上げ開始時間を調整しています。
▶ 沸き上げをしたい場合は、沸き増しの「60分間」を設定してください。
→ 『使いかたガイド』12ページ

前にお問
い合わせ

お問い合わせの前に

このようなときには	これを確認してください
沸き上げ	夜間時間帯の終了時刻よりも早く止まる ● 外気温や残湯量や残湯温度によって、沸き上げの完了時刻は前後する場合があります。
	停電復旧後や修理後に湯量が変わった ● 沸き上げ設定が変わっていないか確認してください。 ● 停電後や修理時には学習内容が初期化される場合があります。学習期間は1週間ですので、そのままお使いください。
	朝に満タンになっていない ● お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。 ▶ 明日に備えて全量を沸かす設定もできますが、一晩だけの設定です。 ⇒ 『使いかたガイド』16ページ
	満タンに沸き上げる湯量が突然変わった ● 学習期間（最初の1週間）は最適な湯量を学習するため、朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。 ● 1週間の間にお湯をまったく使用しない日が6日間あると、自動的に再学習期間（1週間）になり、朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。⇒ 42 ページ
	手動沸き増しを設定しても沸き上げをしない ● ヒートポンプユニット運転停止直後に、手動沸き増しを設定しませんでしたか？ ▶ ヒートポンプユニットが運転を停止してから15分間は機器保護のため運転を待機します。
お風呂（湯はり）	「湯はり」キーが操作できない ● 残湯量表示は点灯していますか？ ▶ 残湯量表示がない場合は、「湯はり」キーは消灯したままとなり操作できません。お湯が十分に沸くまでお待ちください。⇒ 『使いかたガイド』10ページ
	湯はり時間が長い ● 設置後、1回目の湯はりは、浴槽の大きさ・水位を学習するため、湯はりとポンプ循環を繰り返し、時間がかかります。 ● 給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶ 開け方は、⇒ 28 ページをご覧ください。 ● 湯はりに、混合水栓やシャワーでお湯を使うと湯はり時間が長くなります。 ● 浴槽に残り湯があるときは、湯はり時間が長くなります。残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。
	湯はりが途中で止まる（「湯はり」が解除） ● 残湯量表示は点灯していますか？ ▶ 湯はりに残り湯量表示が消灯し、お知らせコード「U:22」が表示されると、「湯はり」運転が解除されます。お湯が十分に沸くまで待つてから、湯はりをやり直してください。⇒ 55ページ
	お知らせコード『U:23』が表示される ● 浴槽の残り湯を再利用した湯はり（節水湯はり）が3回以上続きました。 ▶ 残り湯をすべて排水してから、湯はりをやり直してください。
	浴槽の湯温が低い ● 湯はり温度は目安です。浴槽や配管ならびに季節により変わりますので、状況にあわせて湯はり温度を設定してください。 ● 残湯量表示は点灯していますか？ ▶ 自動保温、たし湯はタンク内のお湯の熱を使って行います。お湯が沸くまでお待ちください。 ● 浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか？（清掃はしていますか？） ▶ 『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。⇒ 27 ページ
	浴槽の水位が安定しない（あふれる、湯量が少ない） ● 浴槽循環金具より下に残り湯がある状態で、湯はりをしませんでしたか？ ▶ 浴槽の残り湯を排水してから湯はりをしてください。 ● 湯はりに混合水栓やシャワーからお湯をたしませんでしたか？ ● 湯はりに入浴しませんでしたか？ ● 水位が下がっても、すぐに設定水位まで戻らない（自動たし湯しない）場合があります。 ▶ すぐに水位を増やしたいときは、「たし湯」をしてください。 ⇒ 『使いかたガイド』6ページ ● 自動湯かげんのモードを「自動で保温」「自動でしない」に設定していませんか？ ▶ 「保温とたし湯」に設定してください。⇒ 19 ページ

このようなときには	これを確認してください
浴槽の水位が安定しない (あふれる、湯量が少ない)	● 浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか? (清掃はしていますか?) ▶ 『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。→  27 ページ ● 湯はりの水位が安定しなかったり、浴槽からお湯があふれるなどの異常が続く場合は、「水位の初期化」を行ってください。→  25 ページ ● ジャグジー・ジェットバスは使用しないでください。正常な湯はりができません。
「湯かげん」キーが操作できない	● 残湯量表示は点灯していますか? ▶ 残湯量表示がない場合は、「湯かげん」キーは消灯したままとなり操作できません。お湯が沸くまでお待ちください。→  『使いかたガイド』10ページ ● 湯はり中は操作できません。
追いだきできない 途中で止まる 追いだきに時間がかかる	● 浴室リモコンの画面に「たし湯」表示がされていませんか? ▶  にタッチしてから   で「追いだき」を選択します。 画面に「追いだき」表示がされていることを確認して  にタッチしてください。 →  『使いかたガイド』6ページ ● 残湯量表示があってもタンク内の湯温が低い場合は時間がかかります。 また、追いだきできない場合があります。 ▶ 「60分間」沸き増しを設定してください。→  『使いかたガイド』12ページ また、追いだきを多く使う場合は、沸き上げ設定を「おおめ」に設定することをおすすめします。 →  14 ページ ● 前日の冷めた残り湯を追いだきすると時間がかかったり、タンク内の湯温が下がり湯切れの原因になり、追いだきができない場合があります。 浴槽の残り湯を排水してから湯はりすることをおすすめします。 ● 残湯量表示は点灯していますか? ▶ タンクの残湯が無いと追いだきできません。 ▶ 追いだき中に、残湯量表示が消灯すると追いだき運転が解除されます。 お湯が沸くまでお待ちください。→  『使いかたガイド』10ページ ● 浴槽循環金具のフィルターが汚れていませんか? (清掃はしていますか?) ▶ 『浴槽循環金具の掃除』の手順で掃除をしてください。→  27 ページ
高温たし湯ができない 熱いお湯が出ない	● 浴槽循環金具の5cm以上うえにお湯がないと高温たし湯を行いません。 ▶ 高温たし湯開始時に、安全確認のため風呂ポンプを動作して浴槽循環金具の上にお湯があるか確認をします。 ● 残湯量が少ない場合や、残湯量表示があってもタンク内の湯温が低い場合は熱いお湯が出なかったり、お好みの温度になるまで時間がかかります。 ▶ 「60分間」沸き増しを設定してください。→  『使いかたガイド』12ページ また、高温たし湯を多く使う場合は、沸き上げ設定を「おおめ」に設定することをおすすめします。 →  14 ページ
浴槽循環金具から水が出る	● 保温、追いだきやたし湯の開始時には、配管内の冷めたお湯が出ることがあります。 ● 気温が低いと、凍結防止運転のため風呂ポンプが動作し水が出る場合があります。
「湯はり」「追いだき」をすると残湯量目盛りが一度に複数消灯する	● 保温や追いだきはタンク内の熱を使って温度を上げているため、タンク内の湯温が下がり残湯量目盛りが減ることがあります。 ● タンクの残湯量目盛りは45℃以上のお湯を表しています。保温や追いだき運転により、タンク内の湯温が45℃付近まで下がると残湯量目盛りが一度に複数消えます。異常ではありません。
浴槽やタイルが青くなる	● 水に含まれる銅イオンが、石けんなどの脂肪酸と反応し青くなることがあります。人体には無害です。汚れを放置すると取れにくくなりますので、市販の浴室用(油汚れ)洗剤で掃除をしてください。→  26 ページ
お湯に油が浮く お湯が臭い	● 初めてお使いの場合は、配管工事の際の油やにおいがお湯に付く場合があります。しばらくすると消えます。
浴槽のお湯が青く見える	● 光の波長や浴槽の色などによって浴槽のお湯が青く見えることがあります。

お問い合わせの前に

	このようなときには	これを確認してください
お風呂 (自動湯かげん)	「自動でしない」を設定したとき	● 浴槽をからにして湯はりを行ってください。 浴槽に残り湯があると、お湯の温度が低くなったり、お湯があふれたりすることがあります。 ● 残り湯が浴槽循環金具の上にあるときは、湯はりだけを行うことができます。
	自動湯かげんの設定を変更したい	● お好みに合わせて設定できます。⇒  19 ページ ● 自動で保温・たし湯での運転時間は、お買い上げ時の設定で「2時間」です。
	残湯量目盛りが減ってしまう	● ふろ保温運転（自動で保温・たし湯）は、タンク内のお湯の熱を使って行うためタンクの湯温が下がり、残湯量目盛りが減ることがあります。
	自動湯かげんが停止してしまう	● 5分以上の停電があると運転を停止します。
お風呂 (入浴時)	機器の腐食や故障を防ぐために	● 浴槽内で石けんを使わないでください。 ● 次の入浴剤は使わないでください。 ・硫黄、酸、アルカリ、塩分、ミルクやミルク成分を含んだもの ・浴槽に沈殿物（にごり成分）が残るもの ・生薬（固形のもの） ・発泡系のもの ※入浴剤の注意書きをよく読んで、影響のないことを確認してください。
お風呂	「配管自動洗浄」を設定したとき	● 洗浄に使用するお湯は約5リットルです。
銀イオン (「銀イオンの湯」搭載機のみ)	浴槽が汚れる	● 銀イオンはお風呂のお湯のにおいのもとになる菌を除菌・防臭する効果なので、お風呂の汚れは落とせません。浴室用中性洗剤などを使って掃除をしてください。
	浴槽が黒ずむ	● 浴槽中の銀イオンが光と反応して浴槽表面に銀として残り、黒ずみの原因になることがあります。入浴時以外は、浴槽のふたなどを利用して光を浴槽水に当てないようにお使いください。 ▶ 黒ずみが気になる場合は、浴室用塩素系カビ落とし剤で落とすことができます。 ⇒  26 ページ - また、「銀イオンの出る量」を「すくなめ」か「なし」に設定することをおすすめします。 ⇒  20 ページ
	「イオン」が点灯しない (浴室リモコン)	● 「銀イオンの湯」搭載機種をお使いですか？ ▶ 『製品仕様』で確認してください。⇒  46～47 ページ ● 湯はり開始直後は点灯しません。湯はり開始後、しばらくすると「イオン」が点灯します。 ● 「銀イオンの出る量」を「なし」に設定していませんか？ ▶ 「銀イオンの出る量」を「標準」に変更してください。⇒  20 ページ
	「イオン」が点滅している (浴室リモコン)	● 銀イオンが減ってくると、湯はりに中に「イオン」が点滅します。 - 銀イオンが無くなると、通常時（湯はり、たし湯をしていないとき）でも「イオン」が点滅します。 ▶ そのままお使いいただく場合は、「銀イオンの出る量」を「なし」に設定してください。 「イオン」が消灯します。⇒  20 ページ - 交換を希望される場合は、お買い求めになった販売店・工事店に交換（有料）をご依頼ください。

このようなときには	これを確認してください
リモコンの表示が消えている	● 配線用しゃ断器および貯湯ユニットの漏電しゃ断器は「入」になっていますか？ ▶ 配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にしてください。 漏電しゃ断器を「入」にしてください。→  28 ページ ● 節電のため、操作後一定時間たつと、リモコンの画面（台所リモコンはバックライト）、キー操作部の表示が消灯します。  にタッチすると再表示されます。表示の点灯時間は変更可能です。→  22～23 ページ
表示が勝手に点灯する 表示が消えない	● お湯を使用すると、キー・表示ともに点灯します。（台所リモコンは点灯しません） また、50℃以上の給湯温度設定をすると、安全配慮のため表示は消えません。
 が消えない	● 表示を残す／残さないの設定ができます。 表示を消したいときは、設定を変更してください。→  22～23 ページ
設定中、画面表示が すぐに戻ってしまう	● 表示の切り替え時間1分です。 1分以内に操作を終わらせてください。
リモコンのキーが すべて点灯しない	● 操作できるキーだけを点灯しているため、全部点灯していても異常ではありません。
設定した内容が 反映されていない	● 設定変更では、 にタッチして確定してください。
リモコンが 操作できない	● 操作のロックを設定していませんか？ ▶ 『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。→  10 ページ、12 ページ
反応が悪い・過敏	● 指の腹でキーの中央にタッチしてください。 ● タッチキー操作感度の設定ができます。 感度を調整したいときは、設定を変更してください。→  22～23 ページ ● 指定のアース工事が確実にに行われていることを確認してください。
給湯温度の 変更ができない	● リモコンの「優先」表示は消えていますか？ ▶ 「優先」表示のあるリモコンでは変更できません。「優先」の切り替えをしてください。 →  『使いかたガイド』8～9 ページ ● 操作のロックを設定していませんか？ ▶ 『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。→  10 ページ、12 ページ
台所リモコンの 表示が一瞬消える	● 定期的に表示の更新を行います。 一瞬表示が消えたように見えることがありますが、故障ではありません。
ガイダンスをしない 聞こえない	● ガイダンスの制限をしていませんか？ガイダンスの音量が「最小」になっていませんか？ ▶ ガイダンスの制限設定、ガイダンスの音量設定を変更してください。 →  22～23 ページ
おはなし通話中に 「ぶっ」と音がる	● 「おはなし」中も、リモコンは本体と通信を行うために音がる場合がありますが異常ではありません。
おはなし通話中に 聞き取りにくい	● 声の音質によっては聞き取りにくい場合があります。マイクに近づいて話してください。 ● 周りの音が大きい場所では、声が聞き取りにくくなる場合があります。 シャワーを止める、テレビの音量を下げるなど周りの音を小さくしてください。
おはなし通話中に ラジオ放送が聞こえる	● 近隣（数km以内）にラジオ放送局もしくは電波塔がある場合、ラジオ放送が入る場合がありますが、異常ではありません。
お湯の使用量表示が 実際と合わない	● 表示されるお湯の使用量は、給湯、湯はり、保温、追いだきなどで使用したすべての熱量を42℃に換算して表示をしています。実際に混合水栓から使用した湯量とは異なります

お問い合わせの前に

このようなときには		これを確認してください
残湯量表示	残湯量表示が一度に複数消灯する	●保温や追いだきは、タンク内の熱を使って温度を上げているため、タンク内の湯温が下がり残湯量目盛りが減ることがあります。 ●タンクに貯められたお湯は放熱によって徐々に温度が下がるため、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。 ●タンクの残湯量目盛りは45℃以上のお湯を表しています。保温や追いだし運転により、タンク内の湯温が45℃付近まで下がると残湯量目盛りが一度に複数消えます。異常ではありません。
	朝になってもすべて点灯しない	●お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。全部点灯していなくても異常ではありません。
	残湯量表示が多くあるのに昼間に沸き増しをする	●お風呂の湯はりを考慮して、沸き増しを行う場合があります。また、湯はり運転中は、保温のため沸き増しをする場合があります。 ▶ 昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。 →  16 ページ
ヒートポンプユニット	ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す	●外気温が低いときは、凍結防止のために、運転/停止を繰り返すことがあります。異常ではありません。
	昼間時間帯に運転している	●昼間時間帯（朝～夜）はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し（沸き上げ）します。 ▶ 昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。 →  16 ページ ●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。 →  33 ページ
	下部から水が出ている地面がぬれている	●沸き上げ中は、空気中の水分が結露し、下部中央水抜き穴より少しずつ排出されます。寒い時期は除霜水も出ます。異常ではありません。凍結などにご注意ください。
	背面が霜で白くなる	●気温が低いと、霜がつく場合があります。異常ではありません。
	運転音大きい	●沸き上げ中や凍結防止運転中は音がします。 ●外気温が低いと、運転音が大きくなる場合があります。
貯湯ユニット	貯湯ユニットの排水口からお湯が出る	●沸き上げ（沸き増し）中は、タンク内の水が膨張して排水口から膨張水が排出されます。異常ではありません。
	貯湯ユニットから音がする	●湯はり運転中や凍結防止運転でポンプが動作し音がします。異常ではありません。
	お湯を止めると「ゴン」と音がする	●水圧が高い地域で混合水栓のシングルレバータイプを使用すると起こりやすい現象です。 ▶ 水撃防止器を取り付けることで改善できます。お買い上げの販売店にご相談ください。
	水を貯めるときに音がする	●タンク内の空気の排出音がしますが、故障ではありません。 ▶ 満水になると音はしなくなります。

お知らせコード (U:〇〇)

リモコンにお知らせコードが表示された場合は、**台所リモコン**に表示される指示にしたがって操作・解除を行ってください。

台 所



お知らせコード

浴 室



お知らせコード

表示コード	予想される原因と対処方法
U:20	お風呂の循環が正常にできなかったときのお知らせです。下記のことを確認してください。 ● 浴槽の栓が抜けたまま湯ほりをしませんでしたか？ ▶ 浴槽の栓を確認し、湯ほりをやり直してください。 ● 湯ほりする湯量が浴槽循環金具より低い位置に設定していませんか？ ▶ 湯量の設定を増やして、湯ほりをやり直してください。 ● 浴槽循環金具のフィルター清掃はしていますか？ ▶ フィルター清掃を1週間に1回を目安に行ってください。
U:22	湯ほりや自動保温中にお湯が無くなったときのお知らせです。下記のことを確認してください。 ● 残湯量目盛りが少ない状態で湯ほりをしませんでしたか？ ▶ 『湯ほり1回分』のお湯の補充（沸き増し）をしてから湯ほりをやり直してください。 ● お湯を多く使いませんでしたか？ 自動保温運転中にお湯が無くなるとお知らせします ▶ 必要な分のお湯の補充（沸き増し）を行ってください。
U:23	浴槽の残り湯を利用した湯ほり（節湯湯ほり）を3回以上続けたときのお知らせです。 ▶ 複数回の節湯湯ほりはおすすめできません。残り湯をすべて排水してから湯ほりをやり直してください。
U:25	お風呂の水位が、浴槽循環金具より下がったときのお知らせです。 【自動保温中（自動湯かげん中）に浴槽の栓を抜いたり（抜けかかったり）しませんでしたか？】 ▶ お知らせコードを解除して、お使いいただけます。
U:27	湯ほり中にタンクへの給水ができなかったときのお知らせです。 【給水止水栓が閉まっている、配管の凍結、断水などが考えられます】 ▶ 原因を取り除いてください。

※上表に記載された原因を取り除いてもひんぱんに発生する場合は故障のおそれがあります。

お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

※お知らせコード以外（E:〇〇、H:〇〇、HU:〇〇）が表示された場合は、故障の場合があります。

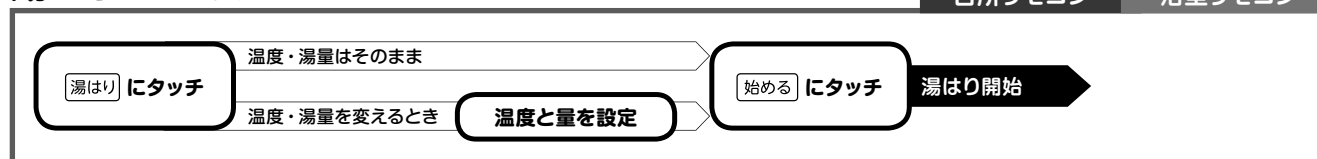
台所リモコンに表示される手順にしたがって対処してください。

使いかたガイドのまとめ (操作の流れ)

湯はりのしかた

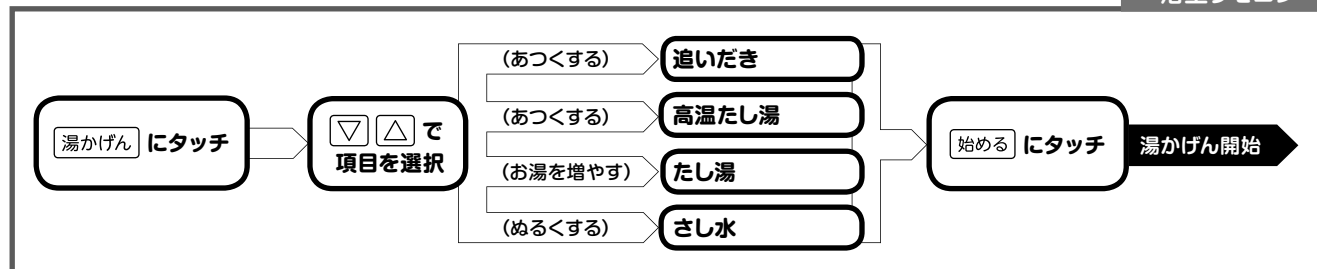
台所リモコン

浴室リモコン



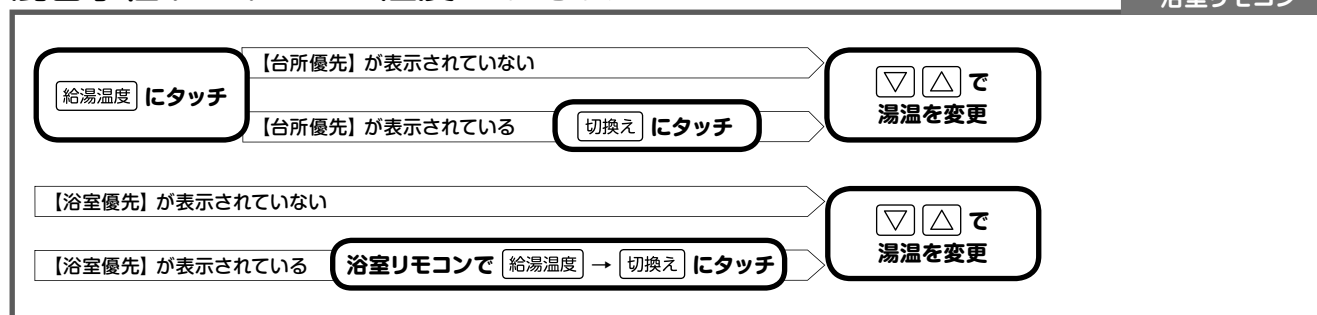
湯かげんのしかた

浴室リモコン



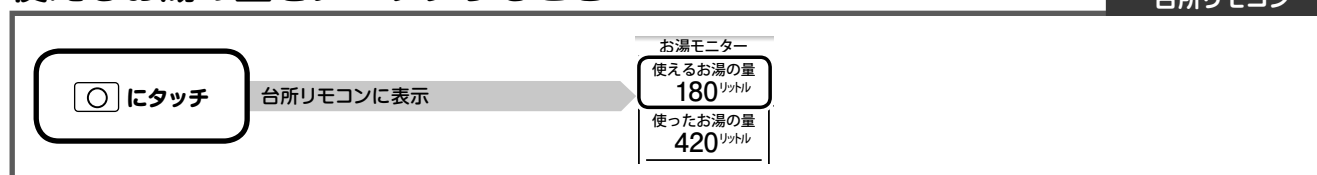
混合水栓やシャワーの温度のかえかた

浴室リモコン



使えるお湯の量をチェックするとき

台所リモコン



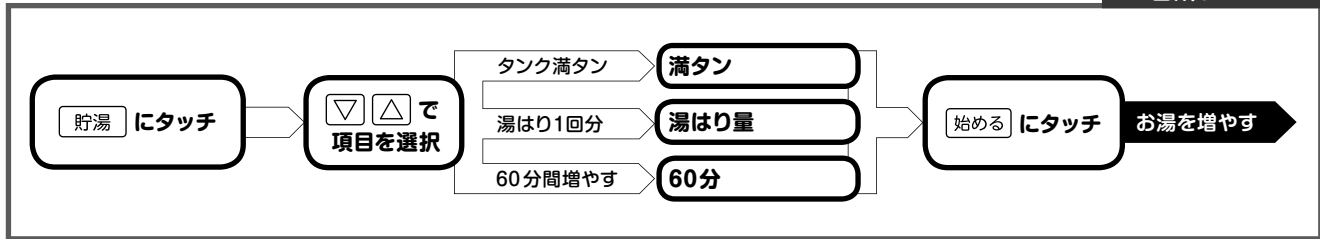
浴室リモコン



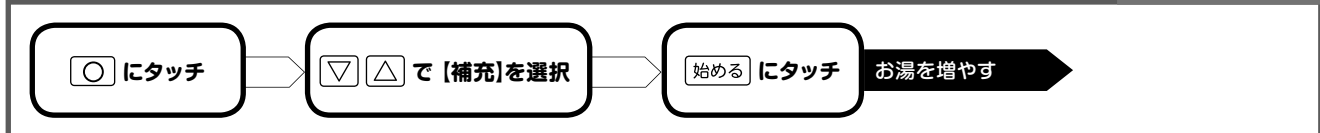
※ 詳細は使いかたガイドをご覧ください。

お湯がたりないとき

台所リモコン

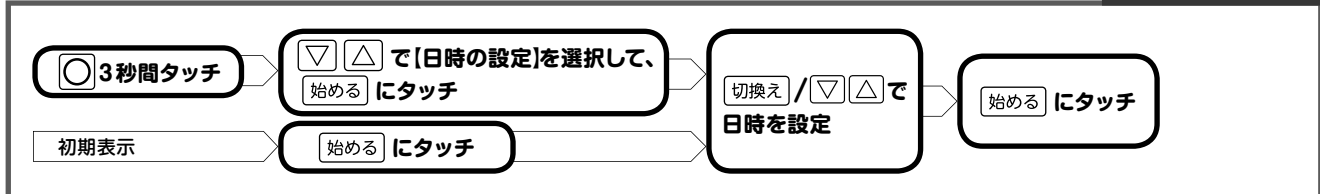


浴室リモコン



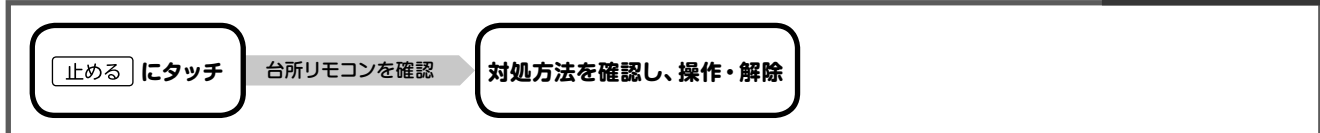
日付・時刻の合わせかた

台所リモコン

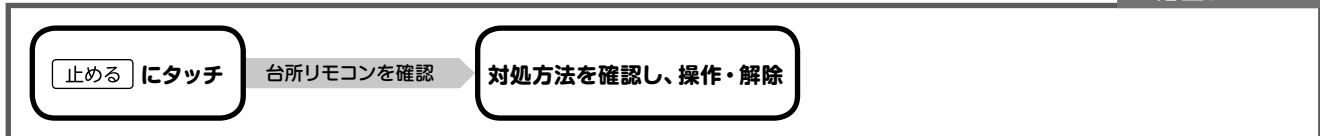


お知らせコードが表示されたとき

台所リモコン

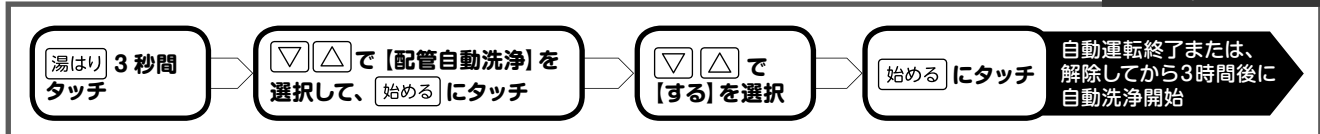


浴室リモコン



浴槽配管の自動洗浄のしかた

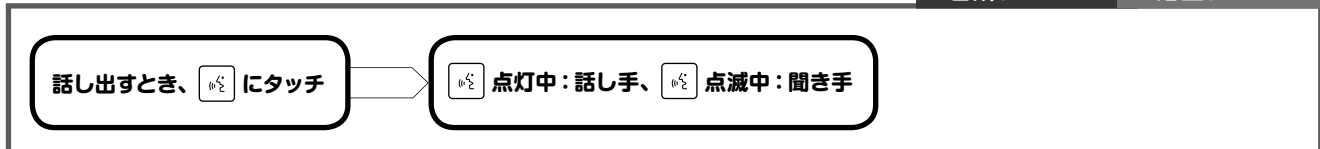
台所リモコン



リモコン同士での会話のしかた

台所リモコン

浴室リモコン



MEMO

[illegible]

5年保証に関する免責事項（重要なお知らせ）

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容にしたがって定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、電磁弁（簡易ホッパー）、ポンプ、二方弁、三方弁、水位センサー、銀イオン発生ユニット）の交換。
※消耗部品の保証期間は2年間です。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、海岸付近（塩害地向け製品を除く）、温泉地などの地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気などの空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
 - ・水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。
 - ・温泉水・地下水・井戸水や塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていた場合や、酸性水質の場合。
 - ・マンションなどの貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）
 - ・電気・給水の供給トラブル・凍結などによる故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却などに使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリなどの動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）
- 当社指定の別売部品を使用しなかったことが原因で不良となった場合。
- 防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。
- 台所リモコンに水をかけた場合。（台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけたりしないでください。）
- 機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用了した場合。（この製品は日本国内専用です。）

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

販売店または工事店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル



トウシバ

0120-1048-19

受付時間:365日 24時間電話でお応えします。

携帯電話・PHS など 03-5365-7420 (通話料: 有料)

FAX 0947-32-2892 (通信料: 有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書(別添)

- この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店(工事店)名」などの記入をお確かめのうえ、販売店(工事店)から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。(ただし、消耗部品は2年間です)
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてからお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は.....

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は.....

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品 名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH-□□□□□□□□
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店(工事店)名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！



愛情点検

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。●お湯が早くなる。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電しゃ断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてから、必ずお買い上げの販売店(工事店)に点検修理(有料)をご相談ください。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地
<http://www.toshiba-carrier.co.jp/>



EF99908001